平成29年9月 対象年度 平成28年度

1 事務事業の	<b></b>							
事務事業名	バリアフリー化	<b>尤推進事業</b>					事 務 事 業コ ー ド	40680100
概 要	誰もが安全で快適に利	用できるよう道路の	)バリアフリー	一化を行う				
総合佐本施策	4 社会基盤の保全	• 整備		È	管部課名	都市整備部	邓 土木課	
計画地	68 道路等の整備				事業類型	任意事業		
事業種別		事業開始年度	~	見i	直しの裁量	市に事業月	見直しの裁量あり	
根拠法令等	バリアフリー新法							
市関連事業	+** 0 0 0 0 0 0 0 0	+te / \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \						
対象	市道2-206号 武	咸台通り						
実施の背景	バリアフリー新法に基	づき事業をおこなっ	ている					
事業目標	バリアフリー化を行う							
事業内容	市道2-206号 武	蔵台通り						
2 事業計画・				_				
H27年度実績(		こまえた さ		H27年度評値			<b>  容 B</b> 現状のまま	
▼□旭4-267	号バリアフリー化整備 :	L.事を行った		▼笙じの人なるよう、バリ	ア女生で快適にリアフリーの表	- 移動でき、	歩行者等の道路交近 道路整備事業を進&	車の円 信化か図スℓ りた
	- □ 新規・レベルアッ	プ ✓ 継続	□ 見	直し 🔲 リ	廃止 ト	127年度評価	話に基づく見直し	(Action)
H28年度の具体	的な取組 (Plan)			H28年度の7	方向性(Plan	1)		
▼競馬場正門通り	バリアフリー化整備工	事を行う		▼全ての人だ 行者等の道路 整備事業を言	各交通の円滑化	:移動でき、 : :な図るため、	ユニバーサルデザッ 、バリアフリーのま	インを推進し、歩 考えに基づく道路
H28年度実績(	Do)			H28年度評例	西 (Check)	評価内	<b>P容</b> B 現状のまま	継続
▼競馬場正門通り	バリアフリー化整備工	事を行った			どおり事業を争			
_ <del></del>	- □ 新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□見	直し 口り	廃止	128年度評価	Tに基づく見直し	(Action)
	的な取組 (Plan)				方向性(Plan			
▼市道4-288	号のバリアフリー化整体	帯工事の設計を行う		▼全ての人だるよう、バ!	が安全で快適に リアフリーの考	:移動でき、 ぎえに基づく -	歩行者等の道路交通 道路整備事業を計画	重の円滑化が図れ 画的に行う
平成30年度にお	おける事業の位置付け							
A 重点化・拡力	てして継続				▼今後もこれ	しまで通りバ	リアフリー化整備を	を推進する
B 現状のまま絹	2 見直し 3 見直し 4 現状で	よ見直しは必要ない しには法令等の改正だ しの必要性はあるが明 では見直しが不可能		В				
C 見直して継続 D 休止・廃止等	2 他事業	ン・縮小 巻との整理・統合		1				
	3 完了							

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析
担保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	担保の方例
		計当初値画	-	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。
	_	実 績	1	ı	ı	ı	ı	
		当初値画	-	-	-	-	-	
	=	値補正値	-	1	ı	1	ı	
	_	実績	_	-	-	_	_	+ ()(+n/+) > +++) + /+)

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	全ての人の歩道での移動 となって促進する	動の利便性及び安全性の	向上を図るため、市が主	体
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	子术员 八川 貝守V	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事詞	業費)						
	当 初 予 算 額	26, 000	52, 422, 000	0	73, 900, 000	5, 500, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	8, 500, 000	0	10, 000, 000	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	26, 000	43, 922, 000	0	63, 900, 000	5, 500, 000	0
	予 算 現 額	26, 000	55, 422, 000	34, 559, 000	67, 002, 000	0	0
	決 算 額	5, 250	53, 693, 220	34, 558, 920	67, 001, 040	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	13, 061, 000	8, 332, 000	12, 300, 000	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5, 250	40, 632, 220	26, 226, 920	54, 701, 040	0	0
	執 行 率	20. 2%	96.9%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
(人化	件費)						
	職 員 数	0.30	0.30	0.90	0.90		
	職員人件費	2, 397, 710	2, 284, 127	7, 012, 119	7, 013, 253		
	嘱託員数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間打	接経費)						
	間 接 経 費	0	0	0	281, 383		
	総コスト	2, 402, 960	55, 977, 347	41, 571, 039	74, 295, 676	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

#### これまでの主な取組と成果

▼平成20年度以降、京所道、市道4-185号、市道2-279号、市道2-208号、市道4-267号、是政通り、本宿南裏通り、武蔵台通り、市道2-206号、市道4-354号、市道4-267号、競馬場正門通りについて、バリアフリー化整備工事を行った

## 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

▼全ての人が安全で快適に移動できるよう、ユニバーサルデザインを推進し、歩行者等の道路交通の円滑化を図るため、バリアフリー化整備事業を 計画的に行う 6 構成事業一覧

(単位:円)

	本土				事業	又當市豐夕	H28:	年度	H29年度
	会計	款	垻	目	事 業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	10	15	1050100	みちづくりバリアフリー化整備事業費 測量設計委託 料			5, 500, 000
2	01	40	10	15	1050300	みちづくりバリアフリー化整備事業費 建設工事費	73, 900, 000	67, 001, 040	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	73, 900, 000	67, 001, 040	5, 500, 000

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	桜通り改修事業				事 務 事 業コ ー ド	40680200
概要	桜通り等のバリアフリー化を考慮した再整備			-		
基本施策	4 社会基盤の保全・整備	主	管部課名	都市整備部	土木課	
総合施策	68 道路等の整備	=	事業類型	任意事業		
事業種別	その他の事務事業 事業開始年度 ~	見证	直しの裁量	市に事業見	直しの裁量あり	
根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法	律				
市関連事業						
対 象	桜通り、府中公園通り、市道3-2号					
実施の背景	桜通り等改修計画に基づき整備を行う					
事業目標	平成27年度事業着手 平成46年度完成予定					
事 業 内 容	危険木の選定及び伐採 桜の樹木の選を及び伐採 桜の樹木の相替え バリアフリー化 沿道公共施設の空間を利用した歩行者空間の整備					
2 事業計画・						
H27年度実績(I	•	H27年度評価			容 B 現状のまる	
▼候通り等収修計 一部で、桜の健全 った	画に基づき、桜通り、府中公園通り及び市道3-2号の性調査、危険樹木の植替え及び根上がり対策工事等を行	f │ 結果を元に危		え及び根上が	い対策工事等を	調査を行い、その 行った
<b>₹</b>	→ □ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見	直し	廃止 H	27年度評価(	に基づく見直し	, (Action)
	的な取組(Plan)		与向性 (Plan			
	園通り及び市道3-2号の一部で、桜の健全性調査、危び根上がり対策工事等を行う	バリアフリー	-化に向けた調	査及び整備事	¥を進める	び市道3- 2号の
H28年度実績(I	Do)	H28年度評価	面(Check)	評価内容	容 B 現状のまる	ま継続
、桜の健全性調査	画に基づき、桜通り、府中公園通り及び市道3-2号で、 危険樹木の植替え及び根上がり対策工事等を行った	ですくなった	秦止 H	28年度評価(	施工箇所の歩道に基づく見直し	は平坦になり歩き 、(Action)
▼桜通り等改修計	<b>町(み取組(FTdII)</b> 画に基づき、桜通り、府中公園通り及び市道 3 - 2 号で、た険樹木の植替え及び根上がり対策工事等を行う	で ▼桜通り等改	<b>与向性(Plan</b> 女修計画に基づ ぶ親しみの持て	き、桜通り、	府中公園通り及 通な道路環境にす	び市道 3- 2号を る
	ける事業の位置付け		•			
A 重点化・拡大 B 現状のまま総	1     大幅な見直しは必要ない       2     見直しには法令等の改正が必須       3     見直しの必要性はあるが時期尚早       4     現状では見直しが不可能	В	▼当面桜通り 変化等を見極	等改修計画の め必要に応じ	)見直しは行わな ごて計画の見直し	いが、社会情勢の を行う
C 見直して継約 D 休止・廃止等	2 他事業との整理・統合	1				

(単位:円、人)

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

#### 3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値			事業推移			目標值·	指標の分析
拍标石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	1日1宗(ノブ 初)
		計当初値画	1	1	1	1	1	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設
	-	値補正値	-	_	-	-	-	定は行わない。
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı	
		計 当初値画	-	-	-	-	-	
	=	値補正値	ı	1	ı	1	1	
	_	実績	_	_	- + +	_	_	tr (\(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\)

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	市民に親しまれている <sup>†</sup> べき事業	妥通り等の整備に係るも	ので、市が主体的に実施	す
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

#### 事業費・人件費等の推移

国庫支出金

の

般 財

都 支

市

出

金

債

他

源

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度					
(≣	事業費)											
	当 初 予 算 額	1, 748, 000	0	0	0	0	0					
ſ	国庫支出金	0	0	0	0	0	0					
ı	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0					
ı	市債	0	0	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0	0	0					
L	一般財源	1, 748, 000	0	0	0	0	0					
	予 算 現 額	1, 748, 000	0	0	0	0	0					
	決 算 額	1, 657, 500	0	0	0	0	0					

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

7, 294, 636

0

0

0

0

0

6, 852, 380

(

	執	行	率	94. 8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
(,	人件費)											
	職	員	数	0. 90	0.90	0.90	0.90					
	職員	人人	- 費	7, 193, 131	6, 852, 380	7, 012, 119	7, 013, 253					
	嘱	託 員	数	0	0	0	0					
	嘱託	員 人 f	牛費	0	0	0	0					
<b>(</b>	<b>引接経</b> 費	量)										
	間	接経	費	0	0	0	281, 383					

7, 012, 119

#### これまでの取組及び今後の展開 5

### これまでの主な取組と成果

総コスト

8,850,631

▼平成22年度から桜通り、府中公園通り、市道3-2号の桜の生育調査等を行った ▼平成24年度から25年度にかけて、府中市桜通り等改修事業検討協議会を計6回開催した ▼平成26年度に桜通り等改修事業検討協議会の提言に基づき、桜通り等改修計画を策定した ▼平成27年度から桜の健全性調査と危険樹木の植替え及び根上がり対策工事等を行った

0

0

0

0

1,657,500

## 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

- ▼今後についても桜通り、府中公園通り及び市道3-2号で桜の健全性調査を行う ▼調査結果を元に、順次危険樹木の植替え及び根上がり対策工事等を進める

6 構成事業一覧 (単位:円)

	一种人				<del></del> лик				(平位:11)	
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
						合 計				

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

1 事務事業の	概要							
事務事業名	道路関係広域逐	連携事業					事 務 事 業コード	
概要	道路整備の推進						•	
<b>基本施策</b>	4 社会基盤の保全	• 整備		Ė	<b>管部課名</b>	都市整備部	部 土木課	
総合施策	68 道路等の整備				事業類型	任意事業		
事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	~	見	直しの裁量	市に事業	見直しの裁量あり	
根拠法令等								
市関連事業								
対 象	市民							
実施の背景	道路整備の促進並びに	交通改善を推進する	ため、関連事	事業活動を行う				
事業目標	道路整備の促進並びに	交通改善を推進						
事業内容	各種協議会活動、関係	機関への要望活動						
2 事業計画・								
H27年度実績(I		78 4		H27年度評			<b>内容</b> B 現状のまる	
、東京都道路整備 議会、東京都総合 橋及び関連道路整	、道路整備促進期成同 事業推進大会、東東京都 治水対策協議会、要望活! 備促進協議会の要望活! 促進協議会の会長市で の連絡調整	区市町村土木関係技 都街路事業促進協議 動	術管理連絡協 会、多摩川架	するため、 組んだ	辺の道路整備の また道路財源の	)促進、道路)確保、道路	交通の改善及び道 予算の拡大等に向	路網の整備を推進け、積極的に取り
₹ V	- 🗌 新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□ 見	直し	廃止 ト	127年度評价	ffiに基づく見直し ■に基づく見直し	, (Action)
H28年度の具体	的な取組 (Plan)			H28年度の	方向性(Plan	1)		
<ul><li>■、東京都道路整備</li><li>■議会、東京都総合</li></ul>	、道路整備促進期成同 事業推進大会、東京都 治水対策協議会、東京 関連道路整備促進協議	区市町村土木関係技術 都街路事業促進協議:	術管理連絡協 会の要望活動	│ するため、` │ 組んでいく	刃の道路整備の また道路財源の	)促進、道路)確保、道路	交通の改善及び道 予算の拡大等に向	路網の整備を推進 け、継続して取り
H28年度実績(I	Oo)			H28年度評	価 (Check)	評価内	<b>7容</b> B 現状のま	ま継続
▼首都道路協議会 、東京都道路整備 議会、東京都総合	、道路整備促進期成同 事業推進大会、東京都 治水対策協議会、東京 関連道路整備促進協議	区市町村土木関係技 都街路事業促進協議	術管理連絡協 会の要望活動	▼当初計画	どおり事業を写			
V	→  一 新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□見	直し	廃止 ト	128年度評価	西に基づく見直 l	(Action)
H29年度の具体	的な取組 (Plan)				方向性(Plan			
、東京都道路整備 議会、東京都総合	、道路整備促進期成同 事業推進大会、東京都 治水対策協議会、東京 関連道路整備促進協議:	区市町村土木関係技 都街路事業促進協議	術管理連絡協 会の要望活動	するため、 組む	辺の道路整備 <i>Φ</i> また道路財源 <i>Φ</i>	)促進、道路 )確保、道路	交通の改善及び道 予算の拡大等に向	路網の整備を推進け、積極的に取り
平成30年度にお	おける事業の位置付け							
A 重点化・拡大					▼東京都周辺	2の道路整備	の促進、道路交通	の改善及び道路網
B 現状のまま総	2 見直 3 見直 1	は見直しは必要ない しには法令等の改正だ しの必要性はあるがいでは見直しが不可能		В	の整備を推進大等に向け、	≝するため、 継続して取	また道路財源の確 り組む必要がある	保、道路予算の拡
 C 見直して継続		<u> </u>			1			
	•	業との整理・統合						
	1 休止			1	I			
D 休止・廃止等			l .	1				
D 休止·廃止等	2 廃止 3 完了			1				

指標名	基準値			事業推移			目標值·	指標の分析	
拍标石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度		
		計当初値画	1	1	1	1	1	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı		
		計 当初値画	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	ı	1	ı	1	1		
	_	実績	_	_	- + +	_	_	tr (\(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\)	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	道路整備の促進、道路 向け、市が積極的に協調	交通の改善、道路財源の 義会会員として参加する	確保、道路予算の拡大等	に
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	7. 八八 頁 中 〇	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事)	<b>業費</b> )						
	当 初 予 算 額	261,000	261,000	262, 000	257, 000	262, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	261,000	261,000	262, 000	257, 000	262, 000	0
	予算現額	261,000	261,000	256, 000	257, 000	0	0
	決 算 額	259, 000	259, 000	255, 900	256, 900	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	259, 000	259, 000	255, 900	256, 900	0	0
	執 行 率	99. 2%	99. 2%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職員数	1. 90	2. 65	1.60	0.40		
	職員人件費	15, 185, 499	20, 176, 451	12, 465, 989	3, 117, 001		
	嘱託員数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間打	妾経費)						
	間接経費	0	0	0	125, 059		
	総コスト	15, 444, 499	20, 435, 451	12, 721, 889	3, 498, 960	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

▼首都道路協議会、道路整備促進期成同盟会東京都協議会、関東国道協会、東京都道路整備事業推進大会、東京都区市町村土木関係技術管理連絡協議会、東京都総合治水対策協議会、東京都街路事業促進協議会、多摩川架橋及び関連道路整備促進協議会の要望活動に参加し、道路事業関係の予算確保に向けて取り組んできた

## 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

▼継続して各種協議会の要望活動に参加していく

6 構成事業一覧

(単位:円)

	1冊/火=				重 業		H28年度		H29年度
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	10	05	0998000	負担金 首都道路協議会	31, 000	30, 900	31, 000
2	01	40	10	05	1000000	負担金 道路整備促進期成同盟会東京都協議会	62, 000	62, 000	62, 000
3	01	40	10	05	1002000	負担金 関東国道協会	36, 000	36, 000	36, 000
4	01	40	10	05	1003000	負担金 東京都道路整備事業推進大会	30, 000	30, 000	30,000
5	01	40	10	05	1004000	負担金 東京都区市町村土木関係技術管理連絡協議会	7, 000	7,000	7,000
6	01	40	15	05	1073000	負担金 東京都街路事業促進協議会	41, 000	41,000	41,000
7	01	40	15	05	1074000	負担金 多摩川架橋及び関連道路整備促進協議会	50, 000	50, 000	55, 000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	257, 000	256, 900	262, 000

記 載 年 月 対 象 年 度 平成29年9月 平成28年度

	概要									
事務事業名	道路新設・拡幅	改修整備事業					事 務 事 業コード			
概要	道路の新設整備及び拡幅	幅改修を行う						1		
<sub></sub> 基本施策	4 社会基盤の保全・	・整備		Ė	管部課名	都市整備部	部 土木課			
総合施策	68 道路等の整備				事業類型	任意事業				
事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	~	見	直しの裁量	市に事業り	見直しの裁量あり			
根拠法令等										
市関連事業										
対 象	市民									
実施の背景	市内の道路交通の円滑付	化と安全性を向上さ	せる。							
事業目標	道路交通の円滑化と安全	全性を向上させるた	め道路の新設	せ・改修整備を	行う。					
事業内容	事 業 内 容 都市計画道路3・4・11号、都市計画道路3・4・16号、多摩川通り、市道1-139号他									
2 事業計画・							_			
H27年度実績(				H27年度評			<b>内容</b> B 現状のます			
▼府3・4・16 ▼市道2-123 ▼市道1-139 ▼府3・4・16	注用地管理を行った 号 (二期区間) の用地測 号の実施設計を行った 号、4-257号の拡 号 (一期区間) の事業語 号、3・4・16号 (二	記改修工事を行った 図可延伸を行った(東		▼追路新設	• 払幅改修整備	はついては	計画的にかつ着実	ご進ちよくしてい		
	- □ 新規・レベルアップ	ኇ ✓ 継続	□ 見正	重し <u></u>	廃止	27年度評価	西に基づく見直し	(Action)		
H28年度の具体	的な取組(Plan)			H28年度の	方向性(Plan	)				
う				▼道路新設 む	・拡幅改修整備	については	継続して計画的に	かつ着実に取り組		
H28年度実績(	Do)			H28年度評	西 (Check)	評価内	<b>7容</b> B 現状のまま	:継続		
▼道路・街路事業 ▼多摩川通りにお ▼府3・4・1 6 事を行った	送用地において維持管理を おいて基本設計を行った 3 号 (一期区間) において 3 号、3・4・16号(二	で修正設計及び電線は		▼道路新設			着実に推進してい			
<u> </u>	▶ □ 新規・レベルアップ	ፇ ☑ 継続	□見圓	重し	廃止 ト	28年度評価	<b>断に基づく見直し</b>	(Action)		
	的な取組 (Plan)				方向性 (Plan					
▼道路・街路事業用地の維持管理を行う ▼府中駅北側において昇降機を設置する ▼府3・4・11号において道路及び電線共同溝予備設計を行う ▼府3・4・16号(一期区間)において支障物件移設及び電線共同溝整備工事を行う ▼府3・4・16号(二期区間)において電線共同溝予備設計を行う										
▼府3・4・11 ▼府3・4・16 備工事を行う	号において道路及び電線 号(一期区間)において	で支障物件移設及び電	記線共同溝整				瓲航 しし有夫に収	りがはむ		
▼府3・4・11 ▼府3・4・16 備工事を行う ▼府3・4・16	号において道路及び電線 号(一期区間)において	で支障物件移設及び電	記線共同溝整				桃桃   して有夫に収	りがはむ		
▼府3・4・11 ▼府3・4・16 備工事を行う ▼府3・4・16	号において道路及び電線 号(一期区間)において 号(二期区間)において らける事業の位置付け	で支障物件移設及び電	記線共同溝整		▼道路新設·		備事業を推進する			
▼府3・4・11 ▼府3・4・16 備工事を行う ▼府3・4・16	号において道路及び電線         号(一期区間)において         号(二期区間)において         Sける事業の位置付け         大して継続         2         3         1         3         1         3         1         3         月直し	で支障物件移設及び電	総称共同溝整 ・を行う ・ 必須	В						
▼府3・4・11 ▼府3・4・16 備工事を行う ▼府3・4・16 <b>平成30年度に</b> A 重点化・拡力	号において道路及び電 号 (一期区間) において 号 (二期区間) において <b>Sける事業の位置付け</b> 大して継続 ** ** ** ** ** ** 1 大幅な 2 見直し 4 現状で 1 見直し	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	総称共同溝整 ・を行う ・ 必須	В	▼道路新設·					
▼府3・4・11 ▼府3・4・16 備工事を行う ▼府3・4・16 <b>平成30年度にま</b> A 重点化・拡力 B 現状のまま約	号において道路及び電線 号(一期区間)において 号(二期区間)において <b>Sける事業の位置付け</b> たして継続 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	総称共同溝整 ・を行う ・ 必須	B 1	▼道路新設·					

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
14 保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度		
		計 当初値	ı	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	_	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	ı	1	ı	ı	ı		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	_	値補正値	ı	1	١	1	ı		
	_	実 績	-	-	-	-	-		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	道路新設・拡幅改修整( 市が主体的に取り組む)	備事業は市民の公共の福 事業である	祉の増進に寄与するので	``
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位	:	円、	人)
-----	---	----	----

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事詞	<b>業費</b> )						
	当 初 予 算 額	171, 161, 000	43, 293, 000	69, 716, 000	70, 331, 000	241, 737, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	9, 900, 000	36, 850, 000	0
	都 支 出 金	96, 800, 000	0	6, 700, 000	10, 050, 000	45, 075, 000	0
	市債	15, 000, 000	17, 000, 000	0	26, 000, 000	47, 000, 000	0
	その他	0	0	5, 400, 000	0	50, 000, 000	0
	一般財源	59, 361, 000	26, 293, 000	57, 616, 000	24, 381, 000	62, 812, 000	0
	予 算 現 額	234, 263, 000	43, 273, 000	69, 764, 000	65, 310, 000	0	0
	決 算 額	227, 192, 285	43, 197, 375	64, 486, 182	58, 187, 190	0	0
	国庫支出金	0	0	0	9, 900, 000	0	0
	都 支 出 金	96, 322, 000	0	7, 500, 000	10, 000, 000	0	0
	市債	0	17, 000, 000	0	17, 000, 000	0	0
	その他	0	0	2, 775, 400	0	0	0
	一般財源	130, 870, 285	26, 197, 375	54, 210, 782	21, 287, 190	0	0
	執 行 率	97.0%	99.8%	92. 4%	89. 1%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職員数	6.75	6.00	4. 40	3. 40		
	職員人件費	53, 948, 484	45, 682, 530	34, 281, 469	26, 494, 510		
	嘱 託 員 数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間打	妾経費)						
	間 接 経 費	0	0	0	1, 063, 003		
	総コスト	281, 140, 769	88, 879, 905	98, 767, 651	85, 744, 703	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

### これまでの主な取組と成果

▼府中市内の新設道路・拡幅改修工事を実施し、道路交通の円滑化と安全性を促進した。

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

▼新設・拡幅に伴う関係権利者の同意及び財源確保

6 構成事業一覧

(単位:円)

6 構成事業一覧								(単位:円)	
	会計	款	項	田	事 業 コード	予算事業名	H28: 当初予算額	年度 決算額	H29年度 当初予算額
1	01	40	10	05	0996000	道路事業用地管理費	2, 184, 000	2, 169, 808	1, 966, 000
2	01	40	10	15	1017920	府中駅北側昇降機設置事業費 監理委託料			3, 090, 000
3	01	40	10	15	1017930	府中駅北側昇降機設置事業費 埋蔵文化財発掘調査委託料			960, 000
4	01	40	10	15	1017950	府中駅北側昇降機設置事業費 設置工事費			87, 600, 000
5	01	40	10	15	1020100	道路拡幅改修整備事業費 測量設計委託料	5, 300, 000	4, 968, 000	
6	01	40	15	05	1067000	街路事業用地管理費	4, 947, 000	4, 866, 361	4, 795, 000
7	01	40	15	15	1102100	都市計画道路整備事業費 測量設計委託料	13, 800, 000	8, 608, 881	27, 700, 000
8	01	40	15	15	1102250	都市計画道路整備事業費 物件補償費	0	30, 100	626, 000
9	01	40	15	15	1102400	都市計画道路整備事業費 建設工事費	44, 100, 000	37, 544, 040	115, 000, 000
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						슴 計	70, 331, 000	58, 187, 190	241, 737, 000

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

1	1 事務事業の概要									
事	務事業名	狭あい道路解消事業		事務事業 40680500						
概	要	建築基準法第42条第2項に指定された道路等において	後退した部分の敷地を道路用	地として寄附を受け、助成を行う。						
<i>(</i> (),	基本施策	4 社会基盤の保全・整備	主管部課名	都市整備部 建築指導課						
総合計画	施策	68 道路等の整備	事業類型	任意事業						
пі н	事業種別	主要な事務事業 <b>事業開始年度</b> 平成7年度 ~	- 見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり						
根	拠 法 令 等	建築基準法第42条第2項、東京都建築安全条例第2条	及び府中市狭あい道路拡幅整	備要綱						
市	関連事業									
対	象	市が管理する道路で、建築基準法第42条第2項に指定	市が管理する道路で、建築基準法第42条第2項に指定された道路等に面する土地の所有者							
実	施の背景	道路の機能は、単に通行のためのみならず、災害時の消 役割を担っている。しかしながら、緊急車両等の通行が								
事	業目標	第6次府中市総合計画において、平成29年度までに市	内の狭あい道路の占める割合	の目標値を8.3%に定めている。						
事	業 内 容	市で管理する道路等で、建築基準法第42条第2項に指定された4m未満の道路等において、4m以上の道路幅員が確保できるよう、土地所有者の協力要請し、道路の中心線から2m以上後退した土地を所有者からの申出により寄附を受け、測量、分筆登記に要する費用を市が負担する、その後退用地に門・塀等がある場合は撤去・移設の工事費を助成金及び奨励金を交付し、道路として整備する。								
2	事業計画•	評価								
H2	7年度実績(	Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続						
$\nabla$ $\delta$	後退用地寄附 多転等工事費助 戻あい道路整備		狭あい道路解消に向け、広 き掛けた結果、着実に成果	域的に土地所有者に対して、積極的に協力を働 を上げている						

2 事業計画・評価	
H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check) 評価内容 A 重点化・拡大して継続
▽後退用地寄附       50件         ▽移転等工事費助成金       28件         ▽狭あい道路整備工事費       57件         ▽物件補償費       2件         (参考)疾あい道路測量委託       60件         (参考)疾あい工作物調査委託       32件         (参考)疾あい登記等業務委託       86件	狭あい道路解消に向け、広域的に土地所有者に対して、積極的に協力を働き掛けた結果、着実に成果を上げている
☑ 新規・レベルアップ □ 継続 □ 見正	直し □ 廃止 H27年度評価に基づく見直し(Action)
H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
狭あい道路整備の申込があった土地所有者のみならず、隣接地権者に対しても個別訪問を行い詳細な説明を行い、併せてご協力を頂けるように積極的に働きかける。 また、狭あい道路の早期解消に向けた路線的及び面的整備を促進するための方策を検討する。	映あい道路の解消にむけて、計画的に各路線の交差点から交差点までの拡幅を目指す。 また、これまでの事業実績や課題を検証し、幅員4m以上道路のネットワークの形成促進を図るため狭あい道路の促進手法の検討を行う。
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check) 評価内容 A 重点化・拡大して継続
▽後退用地寄付       42件         ▽移転等工事費助成金       18件         ▽狭あい道路整備工事       64件         ▽物件補償費       78件         (参考)狭あい道路工作物調査委託       21件         (参考)狭あい登記等業務委託       43件	狭あい道路解消事業に対する市民の認知度が低く、後退用地寄付申請件数が伸び悩んでいる。
<ul><li>✓ 新規・レベルアップ</li><li>✓ 継続</li><li>✓ 見正</li></ul>	・ 直し □ 廃止 H28年度評価に基づく見直し(Action)
H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
狭あい道路の後退用地寄付の申込があった土地所有者のみならず、隣接地権者に対しても個別訪問を行い詳細な説明を行い、併せて協力を頂けるように積極的に働きかける。 また、狭あい道路の早期解消に向けて、現在の整備手法とは別の新たな整備手法の導入を追加検討する。	狭あい道路の解消に向けて計画的に各路線の交差点から交差点までの拡幅を目指す。 また、これまでの事業実績や課題を整理し、幅員4メートル以上の道路ネットワークの形成促進を図るための整備手法を導入する。
平成30年度における事業の位置付け	

平成30年度における事業の位置付け										
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない         2 見直しには法令等の改正が必須         3 見直しの必要性はあるが時期尚早         4 現状では見直しが不可能	A	指標に示すとおり、市内の狭あい道路の割合は目標値を大きく下まわっている。このため、狭あい道路の早期解消に向け、新たな施策を展開し、事業を拡大する必要がある。							
C 見直して継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合									
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了									

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
拍标石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度		
		計当初値画	9. 44	9.06	8. 68	8.3	8.3	狭あい道路解消事業に対する市民 認知度が低く思うように成果が上	
市内の狭あい道路の割合	9.82	値補正値	_	_	-	_	平成29年度		
	%	実 績	9. 7	9. 53	9. 42	1	-		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	_	値補正値	-	1	-	1	-		
	_	実 績	-	_	-	_	_		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1				
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2			
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	地域住民の生活環境の向上のため市が積極的に実施するべき事業である。						
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2			
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3			
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3			
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3			
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2			

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業	<b>業費</b> )						
	当 初 予 算 額	116, 460, 000	127, 300, 000	177, 020, 000	212, 400, 000	187, 500, 000	0
	国庫支出金	0	30, 000, 000	55, 000, 000	74, 700, 000	68, 000, 000	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	116, 460, 000	97, 300, 000	122, 020, 000	137, 700, 000	119, 500, 000	0
	予算現額	122, 460, 000	127, 300, 000	177, 020, 000	196, 600, 000	0	0
	決 算 額	104, 706, 684	121, 491, 848	168, 777, 831	194, 485, 905	0	0
	国庫支出金	0	30, 000, 000	56, 897, 000	75, 059, 000	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	104, 706, 684	91, 491, 848	111, 880, 831	119, 426, 905	0	0
	執 行 率	85.5%	95.4%	95. 3%	98.9%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職員数	2. 10	2. 20	2. 20	3. 65		
	職員人件費	16, 783, 973	16, 750, 261	17, 140, 735	28, 442, 636		
	嘱託員数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間持	妾経費)						
	間接経費	142, 462	142, 863	173, 384	100, 694		
	総コスト	121, 633, 119	138, 384, 972	186, 091, 950	223, 029, 235	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

#### これまでの主な取組と成果

当事業は、建築基準法42条2項等に該当する道路に接する土地を道路用地として寄附を受け、工事費等の助成を行い、4m未満の道路を解消していく事業であり、これまで、寄附申請を受けたものについては、狭あい道路を拡幅整備してきている。これにより、道路機能、交通安全、防災活動等の向上に大きく寄与している。

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

今後、当事業を一層進めるためには、土地所有者の理解と協力を得ながら、計画的に各路線、面的整備での拡幅整備を目指していく。また、安定的な財源確保が必要となることから、引き続き工事費の一部に国庫補助を充当して対応していく。

6 構成事業一覧 (単位:円)

	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	H28: 当初予算額	年度 決算額	H29年度 当初予算額
1	01	40	10	15	1015000	補助金 狭あい道路整備費	22, 000, 000	6, 101, 131	8, 800, 000
2	01	40	10	15	1017050	狭あい道路整備事業費 調査委託料	6, 400, 000	5, 594, 400	
3	01	40	10	15	1017100	狭あい道路整備事業費 測量設計委託料	25, 600, 000	24, 547, 787	25, 700, 000
4	01	40	10	15	1017200	狭あい道路整備事業費 物件補償費	1, 400, 000	1, 218, 887	2, 000, 000
5	01	40	10	15	1017300	狭あい道路整備事業費 建設工事費	157, 000, 000	157, 023, 700	151, 000, 000
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30						Δ ±1	010 400 000	104 405 005	107 500 000
						合 計	212, 400, 000	194, 485, 905	187, 500, 000

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

#### 1 事務事業の概要

1 争務争系の	以女			
事務事業名	負担金 多摩川整備促進協議会			事務事業 コード 40680600
概 要	多摩川の整備促進運動を推進し治水・水害防止・流域自	E民の安全と産業	業経済の発展に	寄与する。
基本施策	4 社会基盤の保全・整備	主	管部課名	都市整備部 管理課
総合振	68 道路等の整備		<b>事業類型</b>	任意事業
計画 事業種別			しの裁量	
		~ 兄回	■しの	市に事業を見直す裁量はない
根拠法令等	多摩川水系河川整備計画(平成13年3月策定)			
市関連事業				
対 象	東京都2区(大田区・世田谷区)14市(八王子市・立市・多摩市・稲城市・あきる野市・羽村市)及び神奈川			市・調布市・日野市・国立市・福生市・狛江
実施の背景	昭和49年(1974年)9月発生の台風16号による 発足した。	が被害を教訓と	して、多摩川の	整備を検討するために
事業目標	豊かで美しい河川環境の創出を目指して、地域住民の意	気見を集約 し河川	川管理者や沿川	自治体と連携した川作りに取り組む。
事業内容	国に対して積極的な要請を行い、流域住民に対する河川	整備促進、啓蒙	蒙等を図る。	
2 事業計画・				
H27年度実績(		H27年度評価		評価内容 B 現状のまま継続
・幹事会 事業 ・要望 平成 要望行動を実施 ・視察研修 平成	27年4月10日開催 計画・要望行動・予算等について2回開催 27年8月12日 関東地方整備局・国土交通省・財務省に 28年2月5日実施 護岸工事ほか2箇所	加傾向にある 直下型地震に 住民に親しま めの事業も推	ら。多摩川の治元対する耐震対策 こ対する耐震対策 これている多摩川 生進するべきでで	等の影響などにより、集中豪雨や大型台風が増 水安全度の向上を図る事業の促進と共に首都圏 森の促進も図る必要がある。また一方で、沿川 川の豊かな生態系や水辺環境の整備と保全のた ある。多摩川沿川17自治体の総意として、関 財務省に粘り強く要望行動を起こすことは重
	- □ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見ī	直し □ 月	廃止 H2	?7年度評価に基づく見直し(Action)
H28年度の具体	的な取組(Plan)	H28年度のプ	方向性 (Plan)	
<ul><li>・幹事会 必要</li><li>・要望 平成</li></ul>	回開催する。 に応じて開催する。 29年度国の予算編成時期に合わせて実施する。 川の抱える諸問題について、共通認識を得るために、現 研修を実施する。		事業に取り組む。	
H28年度実績(	Do)	H28年度評価	面(Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul><li>・幹事会 事業計</li><li>・要望 平成28</li><li>望行動を実施</li><li>・視察研修 平成</li></ul>	8年4月4日開催 -画・要望行動・予算等について2回開催 3年8月10日 関東地方整備局・国土交通 省・財務省に要 329年2月2日実施 緊急対策プロジェクト	加傾向にある 直下型地震に 住民に親しま めの事業も批	る。多摩川の治に対する耐震対策 に対する耐震対策 まれている多摩。 進進するべきで	等の影響などにより、集中豪雨や大型台風が増水安全度の向上を図る事業の促進と共に首都圏策の促進も図る必要がある。また一方で、沿川川の豊かな生態系や水辺環境の整備と保全のたある。多摩川沿川17自治体の総意として、関、財務省に粘り強く要望行動を起こすことは重
_ <del></del>	- □ 新規・レベルアップ □ 継続 □ 見ī		廃止 H2	28年度評価に基づく見直し(Action)
	的な取組(Plan)		方向性 (Plan)	
<ul><li>・幹事会 必要</li><li>・要望 平成</li></ul>	回開催する。 に応じて開催する。 [3 0年度国の予算編成時期に合わせて実施する。 川の抱える諸問題について、共通認識を得るために、現 研修を実施する。		¥業に取り組む。	
平成30年度にお	いる事業の位置付け			
A 重点化・拡大			他自治体と演	携し、国の予算編成時期に合わせ要望行動を実
B 現状のまま組 C 見直して継続	**     1 大幅な見直しは必要ない       2 見直しには法令等の改正が必須       3 見直しの必要性はあるが時期尚早       4 現状では見直しが不可能	В	施することは	
D 休止・廃止等	2     他事業との整理・統合       1     休止       2     廃止	1		
	3 完了			

指標名	基準値			事業推移			目標值·	指標の分析
拍标石	(単位)		│ H26年度 │ H27年度 │ H28年度 │ H29年度 │目標年月		目標年度	1日1宗(ノブ 初)		
		計 当初値	-	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı	
		計 当初値 画	-	-	-	-	-	
	=	値補正値	ı	1	ı	1	1	
	_	実績	_		-	_	_	++ (\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	他自治体と連携して実施	施するべき事業である		
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	7/12/0	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事	業費)						
	当 初 予 算 額	20,000	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	20, 000	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	0
	予 算 現 額	20, 000	15, 000	15, 000	15, 000	0	0
	決 算額	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	0	0
	執 行 率	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
(人	牛費)						
	職員数	0.64	0.65	0.65	0.65		
	職員人件費	5, 145, 855	4, 919, 657	5, 064, 308	5, 082, 067		
	嘱 託 員 数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間打	接経費)						
	間 接 経 費	282, 419	352, 675	214, 922	340, 184		
	総コスト	5, 443, 274	5, 287, 332	5, 294, 230	5, 437, 251	0	0

#### 5 これまでの取組及び今後の展開

### これまでの主な取組と成果

- ・年に1回総会を開催。 ・必要に応じて幹事会を開催。 ・必要に応じて幹事会を開催。 ・多摩川整備促進に関して、国の予算編成時期に合わせて、関東地方整備局、国土交通省、財務省に対して要望行動を実施。 ・多摩川の抱える諸問題について、沿川自治体が共通認識を得ることを目的とし、多摩川以外の河川を含めた現場視察により、幅広い研修を実施。

#### 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

多摩川は、山梨県笠取山を源流として、山梨県、東京都、神奈川県の1都2県を約132kmに渡り、羽田沖の東京湾に注いでいる。想定氾濫区域内人口は、約125万人にも及ぶ全国屈指の都市河川であり、洪水時における流失水量の増大を想定すると引き続き国の管理によりなお一層多摩川の整備事業を促進する必要がある。また、同時に、多摩川の豊かな生態系や潤いのある水辺環境の整備と保全を図るため、平成29年3月に変更された「多摩川水系河川整備計画」に基づく河川事業を推進していくことが重要である。

6 構成事業一覧 (単位:円)

	<b>仲</b> 从□				事 業コード	圣笛事業夕	H28	年度	H29年度
	会計	款	垻	目	コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	10	05	0999000	負担金 多摩川整備促進協議会	15, 000	15, 000	15, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	15,000	15, 000	15, 000

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

1 事務事業の	概要									
事務事業名	既設道路改良團	<b>è備事業</b>					事 務コ	· 第 一	業ド	40680700
概要	道路の改良									
<b>…                                    </b>	4 社会基盤の保全	<ul><li>整備</li></ul>		主	管部課名	都市整備部	邹 土木詞	果		
総合施策	68 道路等の整備			4	事業類型	任意事業				
事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	~	見证	直しの裁量	市に事業」	見直しの	裁量あ	り	
根拠法令等										
市関連事業										
対 象	市民									
実施の背景	良好な道路環境を確保									
事業目標	良好な道路環境整備を	推進する								
事業内容	良好な道路環境整備の	ための改良工事等を	と進める							
2 事業計画・				1						
H27年度実績(	•	/	=======================================	H27年度評価		<b></b>	内容 B	現状の	まま糸	迷続
行った ▼芝間通り、府中 ▼市道4-146号の ▼4-146号の	通り、中央道側道、市駅前通りの設計委託を 号の測量委託を行った 埋蔵文化財発掘調査を 路線の電線類地中化設	行った 行った 計委託を行った			文良整備事業は **・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			<b>₹</b> / ⊟ π	<del>-</del> 1	(Action)
	- □ 新規・レベルアッ	プ <u></u> 継続	□ 見直		発止   H	27年度評価	叫_母^	く見じ	≛し	(ACTION)
1 H/X 年度(/) 旦 体	的73 W紐(Plan)			H28年度の7	与向性 (Plan	)				
▼府中駅前通り改 ▼市道 4-146				1	<mark>5向性(PIan</mark> 対良整備事業は		的に行っ	っていく		
▼府中駅前通り改 ▼市道4-146 ▼市道4-280	(良工事 号改良工事 号外 2 路線改良工事			▼既設道路改	<b>東良整備事業は</b>	今後も計画	的に行っ <b>対容</b> B			<b>迷続</b>
▼府中駅前通り55 ▼市道4-146 ▼市道4-280 H28年度実績( ▼府中駅前通りに ▼市道4-280 ▼市道4-280 ▼前道4-280 ▼朝町町通り外3	(良工事 号改良工事 号外 2 路線改良工事	行った 良工事を行った 溝整備工事を行った		▼既設道路改 H28年度評価	<b>東良整備事業は</b>	今後も計画				<b>迷続</b>
▼府中駅前通り55 ▼市道4-146 ▼市道4-280 H28年度実績( ▼府中駅前通りに ▼市道4-280 ▼市道4-280 ▼前道4-280 ▼朝町町通り外3	良工事 号改良工事 号外 2 路線改良工事 号外 2 路線改良工事 つけて改良工事を行った の 号において改良工事を行った の 号外 2 路線において電線共同 の 2 路線において電線共同	行った 良工事を行った 溝整備工事を行った 電線共同溝等基本設		▼既設道路也 H28年度評値 ▼当初計画と	女良整備事業は <b>西(Check)</b> ごおり事業を実	今後も計画	<b>内容</b> B	現状の	まま糸	
▼府中駅前通り86 ▼市道4-146 ▼市道4-280   H28年度実績 ( ▼府市道4-28 ( ▼府市道4-1 ( ▼市前道4-1 ( ▼市が28 ( ▼市が28 ( ▼市が28 ( ▼市が28 ( ▼市が28 ( ▼市が28 ( ▼下の3 ( ▼下の3 ( ▼下の4 ( 下の4 ( 下	良工事 号改良工事 号外 2 路線改良工事 号外 2 路線改良工事を 一	行った 良工事を行った 良工事を行った 講整備工事等基本 で大った 電線共同溝等基本 が が が が が が が が が が が が が	計を行った	▼既設道路で H28年度評値 ▼当初計画と 10 □ 原 H29年度のフ	女良整備事業は <b>西(Check)</b> ごおり事業を実	今後も計画 評価P E施できた 128年度評価)	<b>内容</b> B	現状の	まま糸	
▼府中駅前通り86 ▼市道4-146 ▼市道4-280 H28年度実績( ▼府市道4-280 ▼市市道4-146 ▼市前道4-146 ▼南前道4-146 ▼南市道4-146 ▼南市道4-146 ▼南市道4-146 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方	Relation	行った 良工事を行った 良工事を行った 講整備工事等基本 で行った 電線共同溝等基本 が が が が が が が が が が が が が	計を行った	▼既設道路で H28年度評値 ▼当初計画と 10 □ 原 H29年度のフ	女良整備事業は <b>西 (Check)</b> ごおり事業を実 <b>発止</b> H <b>方向性 (Plan</b>	今後も計画 評価P E施できた 128年度評価)	<b>内容</b> B	現状の	まま糸	
▼府中駅前通り8 ▼市道4-146 ▼市道4-280   H28年度実績 ( ▼府中道4-280 ▼市前道4-280 ▼市前道4-280 ▼市前道4-280 ▼市前日4-52 ▼市前上通ペラクラー ▼府中道第町上面のである。 ▼市前撤出のである。 ▼市前撤出のである。 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市のでは、1800 ▼市がでは、1800 ▼市がでは、1800 ▼市がでは、1800 ▼市がでは、1800 ▼市ができる。 1800 ▼市ができる。 1800 ▼・1800 ▼・1800 ▼・1800 ▼・1800 ▼・1800 ▼・1800 ▼・1800 ▼・1800 ▼・1800 ▼・18	Re 工事 号改良工事 号外 2 路線改良工事 を	行った 良工事を行った 良工事を行った 講整備工事等基本 で行った 電線共同溝等基本 が が が が が が が が が が が が が	計を行った	▼既設道路で H28年度評値 ▼当初計画と 10 □ 原 H29年度のフ	女良整備事業は <b>西 (Check)</b> ごおり事業を実 <b>発止</b> H <b>方向性 (Plan</b> 面的に推進して	今後も計画   評価P   評価P   28年度評価   )	内容 B	現状の	まま <b>を</b>	(Action)
▼府中駅前通り8 ▼市道4-146 ▼市道4-280 H28年度実績( ▼府市道4-280 ▼市市道4-146 ▼市前道4-149 ▼市前道4-149 ▼市前道4-149 ▼市方首4-149 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方 ▼市方	Retail	行った 良工事を行った 良工事を行った 講整備工事等基本 で行った 電線共同溝等基本 が が が が が が が が が が が が が	計を行った	▼既設道路で H28年度評値 ▼当初計画と 10 □ 原 H29年度のフ	女良整備事業は <b>西 (Check)</b> ごおり事業を実 <b>発止</b> H <b>方向性 (Plan</b> 面的に推進して	今後も計画   評価P   評価P   28年度評価   )	内容 B	現状の	まま <b>を</b>	
▼府・前通り 5 名 5 名 5 名 5 名 5 名 5 名 5 名 5 名 5 名 5	Do)  おいて改良工事を行っを改良工事を行っを改良工事を打り、	行った良工事を行った 良工事を行った 遠下事を行った 講整備工事等基本 プ 継続 プ が継続 で測量及び詳細設計 では見直しは必要ない には必要ははあるが呼ばれる。 では見直しが不可能	計を行った	▼既設道路で H28年度評値 ▼当初計画 と H29年度のフ ▼今後も計画	女良整備事業は <b>価 (Check)</b> ごおり事業を実 <b>発止</b> H <b>方向性 (Plan</b> 面的に推進して	今後も計画   評価P   評価P   28年度評価   )	内容 B	現状の	まま <b>を</b>	(Action)

3 完了

指標名	基準値		事業推移					指標の分析	
14 保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	担保の分析	
		計 当初値	ı	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	ı	1	١	1	ı		
	_	実績	-	-	-	-	ı		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	良好な道路環境整備を図るため、市が主体的に取り組む					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2		

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業	<b>養</b>						
	当 初 予 算 額	182, 250, 000	271, 850, 000	292, 770, 000	683, 436, 000	946, 473, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	161, 040, 000	179, 630, 000	0
	都 支 出 金	13, 800, 000	43, 400, 000	60, 205, 000	193, 760, 000	245, 400, 000	0
	市債	17, 000, 000	11, 000, 000	0	67, 000, 000	268, 700, 000	0
	その他	0	0	0	0	17, 570, 000	0
	一般財源	151, 450, 000	217, 450, 000	232, 565, 000	261, 636, 000	235, 173, 000	0
-	予算現額	167, 848, 000	312, 242, 000	329, 599, 000	569, 889, 000	0	0
;	決 算 額	158, 538, 972	268, 965, 881	314, 871, 930	546, 478, 335	0	0
	国庫支出金	0	0	0	161, 040, 000	0	0
	都 支 出 金	13, 100, 000	39, 600, 000	60, 827, 200	142, 459, 000	0	0
	市債	17, 000, 000	7, 000, 000	0	48, 000, 000	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	128, 438, 972	222, 365, 881	254, 044, 730	194, 979, 335	0	0
i	執 行 率	94.5%	86.1%	95. 5%	95. 9%	0.0%	0.0%
(人作	‡費)						
J	職員数	2.85	4.85	5. 60	4.60		
J	職員人件費	22, 778, 249	36, 926, 712	43, 630, 961	35, 845, 514		
	嘱 託 員 数	0	0	0	1		
I	嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	3, 217, 657		
(間接	接経費)						
	間接経費	0	0	0	1, 750, 833		
	総コスト	181, 317, 221	305, 892, 593	358, 502, 891	587, 292, 339	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

▼改良工事を実施し、道路交通の円滑化、安全性の確保及び騒音・振動の低減を実現した

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

▼コスト縮減と工期短縮及び財源確保

6 構成事業一覧 (単位:円)

	一番が		元		事業	<b>又供去米</b> 力	H28:	年度	H29年度
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	10	05	1005000	負担金 東京都総合治水対策協議会	50, 000	50,000	50, 000
2	01	40	10	15	1022100	道路改良整備事業費 測量設計委託料	25, 812, 000	25, 642, 021	48, 990, 000
3	01	40	10	15	1022300	道路改良整備事業費 建設工事費	252, 954, 000	159, 577, 999	432, 100, 000
4	01	40	10	15	1055310	電線類地中化事業費 測量設計委託料	11, 300, 000	7, 333, 200	17, 500, 000
5	01	40	10	15	1055315	電線類地中化事業費 物件補償費	11, 200, 000	17, 497, 455	
6	01	40	10	15	1055330	電線類地中化事業費 建設工事委託料	382, 120, 000	336, 377, 660	447, 833, 000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	683, 436, 000	546, 478, 335	946, 473, 000

記 載 年 月 対 象 年 度 平成29年9月 平成28年度

1 事務事業の	概要											
事務事業名	用排水路整備事	<b>事業</b>						事務事	業ド	40680800		
概要	用排水路の整備											
<b>从</b>	4 社会基盤の保全	• 整備			主管部	課名都	市整備部	邓 土木課				
総合施策	68 道路等の整備				事業類	頁型 任	意事業					
事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	~		見直しの	の裁量 市	に事業見	見直しの裁量は	あり			
根拠法令等												
市関連事業												
対 象	市民											
7.3	,,,											
実施の背景	用排水路を整備し、良	と好な雨水処理等を推	進する。									
事業目標	用排水路を適正に整備	前、維持管理し、良好	な雨水処理	及び農業用	水の通水を	∵行う。						
<b>事 業 内 容</b> 用排水路整備工事等。												
2 事業計画・	評価											
H27年度実績(I	Oo)			H27年月	き評価 (C	heck)	評価内	<b>]容</b> B 現状⊄	つまま約	迷続		
▼用排水路の適正 行った	な整備及び維持管理(	除草、浚渫、U字溝	没置など) を		水路整備を が安全に生		の環境	衛生向上及び	溢水防	止に努めた結果		
11976												
<u> </u>	- 🔲 新規・レベルアツ	プ ☑ 継続		'	<b>」</b> 廃止		度評価	に基づく見	直し	(Action)		
	的な取組 (Plan)				と の方向性							
▼用排水路の適正 行う	な整備及び維持管理(ド	徐草、浚渫、U字溝。	投置など)を	を「▼用排	<b>ド路整備</b> に	より、地域の	環境衛生	生向上及び溢	水防止	に努めていく		
H28年度実績(I	Oo)			H28年月	度評価 (C	heck)	評価内	<b>]容</b> B 現状⊄	つまま約	迷続		
▼用排水路の適正 行った	な整備及び維持管理(	除草、浚渫、U字溝	設置など) マ	を■▼当初	計画どおり	事業を実施で	きた					
<del></del>	- □ 新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□見	し直し	] 廃止	H28年	度評価	5に基づく見	直し	(Action)		
	的な取組 (Plan)				きの方向性	ŧ (Plan)						
▼用排水路の適正 行う	な整備及び維持管理(『	涂草、浚渫、U字溝 。	役置など)を		k路の適正 こ努める	な維持管理及	び整備に	により、地域の	の環境	衛生向上及び溢		
平成30年度にお	ける事業の位置付け				_							
A 重点化・拡大							向上及	び溢水防止の	ため、	事業を継続する		
B 現状のまま維		な見直しは必要ない	* N/=	D	业发	がある						
		しには法令等の改正が		В								
		しの必要性はあるが問 では見直しが不可能	<del>打</del> 期 向 早									
 C 見直して継続		<u> </u>										
	•	業との整理・統合										
D 休止・廃止等				1								
	2 廃止			_								
I	3 完了				I							

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
14 保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	相保の力机	
		計 当初値	ı	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	1	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	ı	1	ı	ı	ı		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	_	値補正値	ı	1	١	1	ı		
	_	実 績	-	-	-	-	-		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1		
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	用排水路の良好な維持管理のため、用水組合等との連携が必要なので市が 主体的に実施するべき				
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3	
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3	
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3	
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3	
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2	

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)
H30年度

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事	業費)						
	当 初 予 算 額	14, 100, 000	14, 000, 000	14, 900, 000	17, 140, 000	17, 200, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	14, 100, 000	14, 000, 000	14, 900, 000	17, 140, 000	17, 200, 000	0
	予 算 現 額	14, 100, 000	14, 000, 000	20, 712, 000	17, 140, 000	0	0
	決 算額	14, 086, 149	13, 758, 423	20, 711, 775	17, 100, 091	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	14, 086, 149	13, 758, 423	20, 711, 775	17, 100, 091	0	0
	執 行 率	99.9%	98.3%	100.0%	99.8%	0.0%	0.0%
(人作	件費)						
	職員数	1.00	1.00	1. 20	1.40		
	職員人件費	7, 992, 368	7, 613, 755	9, 349, 492	10, 909, 504		
	嘱託員数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間打	妾経費)						
	間 接 経 費	0	0	0	437, 707		
	総コスト	22, 078, 517	21, 372, 178	30, 061, 267	28, 447, 302	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

### これまでの主な取組と成果

▼草刈・浚渫・U字溝設置工事等を実施し、良好な用排水路処理を実現した

## 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

▼用排水路の適正な維持管理

6 構成事業一覧 (単位:円)

	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	H28: 当初予算額	<sup>年度</sup> 決算額	H29年度 当初予算額
1	01	40	10	05	0995050	法定外公共物管理費	9, 400, 000	9, 396, 292	9, 500, 000
2	01	40	10	15	1047300	用排水路整備事業費 建設工事費	7, 740, 000	7, 703, 799	7, 700, 000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	17, 140, 000	17, 100, 091	17, 200, 000

平成29年9月 対 象 年 度 平成28年度

1 事務事業の	概要					
事務事業名	私道整備事業					事務事業 40680900
概要	私道整備事業					
基本施策	4 社会基盤の保全	<ul><li>整備</li></ul>		主	管部課名	都市整備部 管理課
総合	68 道路等の整備				事業類型	任意事業
計画		事業開始年度	~		直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	府中市私道整備事業実		4	761		市にず木九直しい級重のグ
市関連事業	加丁印塔厄亚州事未为					
	市内の私人の所有する	*************************************	シー・サン・フリン	7 + 0		
対 象	市内の私人の所有する	,退じ、一般父連の用	ルに供されてい	200		
実施の背景	一般交通の用に供して	いる私道を整備する	ことにより住	- 民の利便性及	び福祉の向上を	を図る
 事 業 目 標	住民の利便性及び福祉		<u></u> :目的とする			
事業内容	私道整備 (1)砕石敷工事 (2)簡易舗装工事 (3)雨水ます設置エ					
2 事業計画・						
H27年度実績(	Do)			H27年度評例	西 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
私道の整備				実績無し		
0件						
	- □ 新規・レベルアッ	プ	☑ 見直	il 🗍 J	廃止 ト	H27年度評価に基づく見直し(Action)
W00 5 5 5 5 W						
	<b>的な取組(Plan)</b> ないことから利用しや		~ ~		方向性(Plan	か果的な整備を行っていく
	w. cew 313,100 (	7 · Δ/11/1 / / Δ/12 · Θ · Δ · 1			1   ( - 42 - C //	
H28年度実績(	Do)			H28年度評价	価 (Check)	<b>評価内容</b> C 見直して継続
私道の整備						雨水桝設置工事を2基を行った。
延長 41.1m				1-12-1111901	7 - 11 (	7 2 2 4 3 7 7 7 7 8
幅員 4.0 m   雨水桝設置 2 基	1					
	- 「い、事業の対象を拡大	<b>よっししょ 15 白コム</b>	11年10人 た. 144 ら			
安神の兄担しで1、 した。	(・、 争乗の対象を拡入	りのここもに日口貝:	担削日を増や			
	▼ □ 新規・レベルアッ	プ 🔽 継続	□見直		廃止 ト	H28年度評価に基づく見直し(Action)
1100 F F O P (1						
	的な取組 (Plan)	,			<u>方向性(Plan</u>	
引き続き効果的な 	私道の整備を行ってい	< °		新たな要綱に	C基づき効果的	りな整備を行っていく。
1						
平成30年度にお	おける事業の位置付け	-				
A 重点化・拡力					住民の利価と	:福祉の向上を図ることを目的としている。実施
A     単点化・拡力       B     現状のまま組		な見直しは必要ない			状況を勘案し	- 価値の向上を図ることを目的としている。 実施しながら見直しを行った。
ロ がかいりょよ州	2///0	しには法令等の改正が	が必須	В		
		しの必要性はあるが問		ט		
		この必要性はあるが では見直しが不可能	17列円十			
 C 見直して継紀					1	
し 兄旦して歴的	•				1	
	り 伽重き	としの 敷理・体へ				
D 休止・廃止等		業との整理・統合		1		

3 完了

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
14 保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	相保の力制	
		計 当初値	ı	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	ı	1	١	1	ı		
	_	実績	-	-	-	-	ı		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	地域住民の利便を図るべく生活道路として支障がないよう整備に努める。					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2		

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	FAR MIRGO	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事)	<b>業費</b> )						
	当 初 予 算 額	11, 600, 000	5, 000, 000	4, 650, 000	4, 650, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	1, 160, 000	500,000	465, 000	465, 000	0	0
	一般財源	10, 440, 000	4, 500, 000	4, 185, 000	4, 185, 000	0	0
	予算現額	5, 600, 000	5,000,000	4,650,000	4,650,000	0	0
	決 算額	4, 020, 022	2, 738, 290	0	1, 595, 573	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	320, 821	0	0	159, 557	0	0
	一般財源	3, 699, 201	2, 738, 290	0	1, 436, 016	0	0
	執 行 率	71.8%	54.8%	0.0%	34. 3%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職 員 数	2. 77	0. 11	0.00	0.01		
	職員人件費	22, 127, 178	819, 943	0	84, 701		
	嘱託員数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間打	妾経費)						
	間接経費	1, 214, 402	58, 779	0	5, 669		
	総コスト	27, 361, 602	3, 617, 012	0	1, 685, 943	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

地域住民からの要望により、簡易舗装、雨水桝の設置等を行い生活道路としての整備を実施。また、事業の対象を拡大するため、要綱を改正した。

## 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

本来土地所有者が自己管理すべき資産でもあるため、市が関与していく程度について考慮しつつ本事業の適用基準について改正を行ったので、新たな基準に基づいて実施していく。

6 構成事業一覧 (単位:円)

			款 項 目 事 業 コード     予算事業名     H28年度       当初予算額     決算額		年度	H29年度			
	会計	款	垻	п	コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	10	15	1048000	私道整備事業費 建設工事費	4, 650, 000	1, 595, 573	
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						슴 計	4, 650, 000	1, 595, 573	

平成29年9月 対象年度 平成28年度

□ 事務事業の	<b>慨</b> 安							
事務事業名	地籍調査事業			事務事業 40690100				
概要	国土調査法に基づく土地の所有者・面積・地目・地番	<b>手の調査及び土地の</b>	)境界と面積を	測量する。				
<b></b>	4 社会基盤の保全・整備	主	管部課名	都市整備部 管理課				
総合施策	69 道路等の適正な維持管理	事	業類型	任意事業				
事業種別	その他の事務事業 <b>事業開始年度</b> 平成19年	度 ~ 見直	[しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	国土調査法、国土調査促進特別措置法							
市関連事業								
対 象	府中市内全域							
実施の背景	登記所に備え付けられている土地の情報は、 その半などが現実とは異なっている場合が多くあるため地籍	分ほどが明治時代は 手調査事業を実施し	に作られた情報 て土地の正確	報もとにしたものであり、境界や形状、面積 な情報を調査する。				
事 業 目 標	府中市全域の土地の境界が確定することで事業が完了	でとなり、登記所に	こすべての土地	が正確な情報で登記される。				
事 <b>業 内 容</b> 地籍調査事業は、国土調査法及び関係規程に基づき、一筆ごとの土地について測量、資料調査、現地立会いを行い境界を確定するものである。府中市では、先行的に街区ごとに官地(道路など)と民地との境界を決めている。								
2 事業計画・	評価							
H27年度実績(		H27年度評価		評価内容 B 現状のまま継続				
官民境界等先行調 ・美好町二丁目	の一部 0.02km (換算面積0.01km)	当初計画どお	り事業を実施	できた。				
	→ □ 新規・レベルアップ □ 継続 □ ∮	見直し □ 廃	it H	27年度評価に基づく見直し (Action)				
H28年度の具体	的な取組(Plan)	H28年度の方	i向性 (Plan)					
官民境界等先行調 ・美好町二丁目	査 の一部 0.03k㎡(換算面積0.02k㎡)	引き続き継続	して事業に取	り組む。				
H28年度実績(	Do)	H28年度評価	(Check)	評価内容 B 現状のまま継続				
官民境界等先行訓 ・美好町二丁目	月査 月の一部 0.03k㎡(換算面積0.02k㎡)	当初計画どお	り事業を実施	できた。				
_ <del>\</del>	■ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 身	見直し □ 廃	§止 Hi	28年度評価に基づく見直し(Action)				
H29年度の具体	的な取組(Plan)	H29年度の方	向性 (Plan)					
官民境界等先行調 ・美好町二丁目	]査 の一部 0.03k㎡(換算面積0.02k㎡)	引き続き継続	して事業に取	り組む。				
平成30年度にお	おける事業の位置付け							
A 重点化・拡大	てして継続		市内全域の調	査を終えるには相当な時間を要するが、事業を				
B 現状のまま糸	<ul><li>*統</li><li>1 大幅な見直しは必要ない</li><li>2 見直しには法令等の改正が必須</li><li>3 見直しの必要性はあるが時期尚早</li><li>4 現状では見直しが不可能</li></ul>	В	拡大するには	体制の整備が必要となる。				
C 見直して継糸 D 休止・廃止等	2 他事業との整理・統合	3						
	○ 元】	I I						

指標名	基準値		事業推移					指標の分析	
拍标石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	1日1宗(ノノ) 171	
	0.01	計当初値画	0.01	0.01	0.01	0.01	0.04	官民境界等先行調査を着実に進め 事業実施面積を増やしていくため	
調査対象面積(換算面積)	0.01	値 補正値	-	0.01	0.02	0.02	平成29年度	事業実施面積を増やしていくため には、事業を継続していく必要が ある。	
	km²	実 績	0.01	0.01	0.02	1	-		
		計 当初値	-	-	-	_	-		
	_	値補正値	-	-	-	ı	ı		
	-	実 績	_	_	_	_	_		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	市が主体となり官民境	界調査等を実施する。		
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位	:	円、	人)
\ <del>-</del>	•		/ /

	F未良。八门貝号W:	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
/車=	<b>業費</b> )	1120+12	1120-12	1127 — 12	1120十1文	1120 — 12	1100-172
l ⊨	当初予算額	4, 437, 000	4, 447, 000	4, 967, 000	5, 247, 000	4, 861, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	3, 300, 000	3, 000, 000	3, 510, 000	3, 600, 000	3, 375, 000	0
	市 債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 137, 000	1, 447, 000	1, 457, 000	1, 647, 000	1, 486, 000	0
	予算現額	4, 437, 000	4, 447, 000	4, 967, 000	5, 247, 000	0	0
	決 算 額	4, 237, 000	4, 351, 000	4, 675, 000	4, 351, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	3, 150, 000	3, 000, 000	3, 510, 000	3, 165, 000	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 087, 000	1, 351, 000	1, 165, 000	1, 186, 000	0	0
	執 行 率	95. 5%	97.8%	94. 1%	82. 9%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職員数	2.77	2. 78	2. 80	2.80		
	職員人件費	22, 127, 178	21, 154, 525	21, 776, 524	21, 852, 889		
	嘱託員数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接	<b>妾経費</b> )						
	間接経費	1, 214, 402	1, 516, 505	924, 168	1, 462, 794		
	総コスト	27, 578, 580	27, 022, 030	27, 375, 692	27, 666, 683	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

#### これまでの主な取組と成果

府中市では平成19年度から調査を開始し、平成22年度の4か年にわたり府中町三丁目の一部、府中町二丁目の一部、小柳町五丁目の一部につい が、日本大震災による地殻変動のため、地籍調査に使用する公共基準点が移動したことに伴い、平成23年度、平成24年度は公共基準点の改測(再

測量)及び改算を行った。 平成25年度から官民境界等先行調査を再開し、小柳町五丁目の一部を実施した。 平成26年度からは美好町二丁目地区の調査を実施する。

#### 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

市内の全体調査面積約28.76kmペに対して、年度ごとの調査面積が少ない(平成28年度時点で調査面積0.30kmペ)ため、長期的な計画を立てて事業を実施する必要がある。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	ᄉᆗ	力大	元		事 業 コード	マ体市光力	H28:	H29年度	
	会計	款	項	目	コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	05	05	0975000	負担金 全国国土調査協会	21,000	21,000	21,000
2	01	40	05	05	0976000	負担金 東京都国土調査推進協議会	10,000	10,000	10,000
3	01	40	05	05	0978001	地籍調查境界查定事業費	5, 216, 000	4, 320, 000	4, 830, 000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						슴 計	5, 247, 000	4, 351, 000	4, 861, 000

記載年月 平成29年9月 対 象 年 度 平成28年度

D 休止・廃止等

サ份争系の	M.S.	1 事務事業の概要								
事務事業名	道路等維持管理事業		事務事業 40690200							
概要	道路等の維持管理									
基本施策	4 社会基盤の保全・整備	主管部課名	都市整備部 管理課							
総合施策	69 道路等の適正な維持管理	事業類型	法定事業							
事業種別	その他の事務事業 事業開始年度 ~	見直しの裁量	市に事業の一部を見直す裁量あり							
根拠法令等	道路法									
市関連事業										
対 象	市内の市が管理する道路									
実施の背景	道路法									
事業目標	市内の市が管理する道路における適正な維持管理									
事 業 内 容	事 <b>業 内 容</b> 道路の維持管理(路面補修、陥没補修、破損等における点検・修理) 道路付属物の維持管理(交通安全施設、街路樹、道路照明等) 道路・水路の境界確定協議 道路台帳図補正									
2 事業計画・										
H27年度実績(		H27年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続							
<ul><li>期発見に努め、現 ○定期的に樹木の</li></ul>	や市民からの通報により道路の破損箇所や危険箇所の早 業職員や委託により早期改修を行った 剪定を行い、緊急な要望に対しても対応を行った ヤキ、白糸台通りの間伐を行った 検を行った	○道路パトロールによる道 ○市民からの通報による道 ○現業職員による道路の維 ○対策者による道路の維 ○樹木の適正な維持管理 ○橋梁点検による老朽化対	路状況の把握 持管理 持管理							
新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見直し □ 廃止 H27年度評価に基づく見直し (Action)										
H28年度の具体	的な取組(Plan)	H28年度の方向性 (Plan	)							
○道路の破損箇所 ○けやき並木周辺 導入した効果的、 ○定期的な樹木の	<b>的な取組 (Plan)</b> 示や危険箇所の早期発見及び改修  については、包括委託による維持管理を行い民間活力を 効率的な道路維持管理を目指す  剪定や除草を行っていく 術館通りのケヤキの間伐を行っていく を行う	○道路維持管理の情報を蓄保全の管理を目指す ○けやき並木周辺についてを導入した効果的、効率的活力を利用した道路維持管	積した効率的な維持管理や施設点検による予防 は、包括委託による維持管理を行ない民間活力 な道路維持管理を目指すと同時に、今後の民間							
○道路の破損箇所 ○けやき並木周辺 導入した効果的、 ○定期的な樹木の ○朝日町通り・美	「や危険箇所の早期発見及び改修 !については、包括委託による維持管理を行い民間活力を 効率的な道路維持管理を目指す 剪定や除草を行っていく 術館通りのケヤキの間伐を行っていく を行う	○道路維持管理の情報を蓄保全の管理を目指す ○けやき並木周辺についてを導入した効果的、効率的活力を利用した道路維持管 ○大径木の間伐や植え替えていく	積した効率的な維持管理や施設点検による予防は、包括委託による維持管理を行ない民間活力 は、包括委託による維持管理を行ない民間活力 は道路維持管理を目指すと同時に、今後の民間 理の可能性を検証していく							
○道路の破立場域 ○道路のでは ○道路のでは 一のできたのでは 一のできたのでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは	「や危険箇所の早期発見及び改修 」については、包括委託による維持管理を行い民間活力を 効率的な道路維持管理を目指す 剪定や除草を行っていく 術館通りのケヤキの間伐を行っていく まを行う  Do)  Do)  Do)  や市民からの通報により道路の破損箇所や危険箇所の早 是業職員や委託により早期改修を行った り剪定を行い、緊急な要望に対しても対応を行った と術館通り、平和通りの間伐を行った	○道路維持管理の情報を蓄保全の管理を目指す ○けやき並木周辺についてを導入した効果的、効率的 活力を利用した道路維持管 ○大径木の間伐や植え替え	積した効率的な維持管理や施設点検による予防は、包括委託による維持管理を行ない民間活力な道路維持管理を目指すと同時に、今後の民間理の可能性を検証していくを行いながら、樹木の定期的な維持管理を行っをがら、樹木の定期的な維持管理を行った状況の確認道路状況の把握達持管理							
○道路の破球型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型	「や危険箇所の早期発見及び改修 」については、包括委託による維持管理を行い民間活力を 効率的な道路維持管理を目指す 剪定や除草を行っていく ・術館通りのケヤキの間伐を行っていく ・を行う  Do)  Do)  Do)  Do)  Do)  Do)  Do)  Do	○道路維持管理の情報を蓄保全の管理を目指す ○けやき立た効果的に効率に ・ はず入した対象といいで ・ はず入したが効果的に ・ はず入したが発生が ・ はず入したが発生が ・ はずれの間代で ・ はながます。 ・ はないで ・	積した効率的な維持管理や施設点検による予防は、包括委託による維持管理を行ない民間活力な道路維持管理を目指すと同時に、今後の民間理の可能性を検証していくを行いながら、樹木の定期的な維持管理を行っをがら、樹木の定期的な維持管理を行った状況の確認道路状況の把握達持管理							
○道路のきたのでは、のきたのでは、のきたのできたのできたのでは、のものでは、のきたのでは、のものでは、のはでは、のは	「や危険箇所の早期発見及び改修 については、包括委託による維持管理を行い民間活力を 効率的な道路維持管理を目指す 剪定や除草を行っていく 術館通りのケヤキの間伐を行っていく を行う  Do)  Pや市民からの通報により道路の破損箇所や危険箇所の早 農業職員や委託により早期改修を行った の剪定を行い、緊急な要望に対しても対応を行った とが館通り、平和通りの間伐を行った を行った 同辺地区道路等包括管理事業(平成26年度~28年度)を	○道路維持管理の情報を蓄保全の管理を目指す ○けやき立た効果的に効率に ・ はず入した対象といいで ・ はず入したが効果的に ・ はず入したが発生が ・ はず入したが発生が ・ はずれの間代で ・ はながます。 ・ はないで ・	積した効率的な維持管理や施設点検による予防は、包括委託による維持管理を行ない民間活力な道路維持管理を目指すと同時に、今後の民間理の可能性を検証していくを行いながら、樹木の定期的な維持管理を行っ 評価内容 A 重点化・拡大して継続路状況の確認路状況の把握達持管理 操策 22を確認 28年度評価に基づく見直し (Action)							
□ 道路やし期でのきた的町ののきた的町ののきた的町ののきた的町ののきた的町ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	「や危険箇所の早期発見及び改修」については、包括委託による維持管理を行い民間活力を 効率的な道路維持管理を目指す の剪定や除草を行っていく (術館通りのケヤキの間伐を行っていく (を行う)  Do)  Pや市民からの通報により道路の破損箇所や危険箇所の早 意楽職員や委託により早期改修を行った の剪定を行い、緊急な要望に対しても対応を行った を持館通り、平和通りの間伐を行った であった の問辺地区道路等包括管理事業(平成26年度~28年度)を  「別辺地区道路等包括管理事業(平成26年度~28年度)を  「財政・レベルアップ」  「一 新規・レベルアップ」  「一 新規・レベルアップ」  「一 新規・レベルアップ」  「一 大き値)  「中でに、 「中では、 「	○道路維持管理の情報を蓄保全の管理を相対では、 保全の管理を相対である。 のできるが対したでは、 のできるが対したでは、 のできるが対したでは、 のできるが対したでは、 のできるが、 のでいるが、	積した効率的な維持管理や施設点検による予防は、包括委託による維持管理を行ない民間活力な道路維持管理を目指すと同時に、今後の民間理の可能性を検証していてを行いながら、樹木の定期的な維持管理を行っ 評価内容 A 重点化・拡大して継続路状況の確認路状況の把握達持管理 操策 28年度評価に基づく見直し (Action))							
○ 道路やし期日 を	でた危険箇所の早期発見及び改修 については、包括委託による維持管理を行い民間活力を 効率的な道路維持管理を目指す 剪定や除草を行っていく 術館通りのケヤキの間伐を行っていく きを行う  のの  ので中民からの通報により道路の破損箇所や危険箇所の早 選職員や委託により早期改修を行った 動剪定を行い、緊急な要望に対しても対応を行った を行った の間伐を行った の間辺地区道路等包括管理事業(平成26年度~28年度)を が取組(Plan)  「や危険箇所の早期発見及び改修 ・剪定や除草を行っていく ・を図る計画を策定する ・を図る計画を策定する ・事業の評価及び次期の方向性を示し、次期道路等包括管 ・進める	○道路維持管理の情報を蓄保全の管理を相対では、 保全の管理を相対である。 のできるが対したでは、 のできるが対したでは、 のできるが対したでは、 のできるが対したでは、 のできるが、 のでいるが、	積した効率的な維持管理や施設点検による予防は、包括委託による維持管理を行ない民間活力な道路維持管理を目指すと同時に、今後の民間理の可能性を検証していく。を行いながら、樹木の定期的な維持管理を行っ  評価内容 A 重点化・拡大して継続路状況の確認路状況の把握持管理場持管理場接							
○ 道路やし期日 を	でた危険箇所の早期発見及び改修については、包括委託による維持管理を行い民間活力を 効率的な道路維持管理を目指す 効率的な道路維持管理を目指す 動定や除草を行っていく 流を行う  Do)  や市民からの通報により道路の破損箇所や危険箇所の早 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○道路維持管理の情すの (全年度) (Check)	積した効率的な維持管理や施設点検による予防は、包括委託による維持管理を行ない民間活力な道路維持管理を目指すと同時に、今後の民間理の可能性を検証していく。を行いながら、樹木の定期的な維持管理を行っ  評価内容 A 重点化・拡大して継続 路状況の確認。 路状況の理握持管理 持管理 接觸 28年度評価に基づく見直し(Action)  1							

2 他事業との整理・統合

1 休止 2 廃止 3 完了

指標名	基準値		事業推移					指標の分析
191宗石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	1日1示 ジング」 1/1
		計 当初値	ı	-	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設
	ı	値補正値	-	-	-	-	-	定は行わない。
	-	実 績	ı	1	ı	ı	1	
		計 当初値	-	-	-	-	-	
	=	値補正値	ı	1	ı	1	1	
	_	実績	_	-	-	_	_	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	道路法に基づき、市で行	行う事業である。		
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位	:	円、	人)
-----	---	----	----

	7. 八门 员 中 0	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事)	業費)						
	当 初 予 算 額	371, 267, 000	436, 374, 000	494, 908, 000	557, 293, 000	579, 567, 000	0
	国庫支出金	0	11, 825, 000	5, 500, 000	25, 355, 000	2, 827, 000	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	371, 267, 000	424, 549, 000	489, 408, 000	531, 938, 000	576, 740, 000	0
	予 算 現 額	378, 787, 000	474, 347, 000	551, 965, 000	567, 795, 000	0	0
	決 算 額	369, 880, 841	465, 175, 184	539, 557, 294	543, 482, 831	0	0
	国庫支出金	0	10, 670, 000	7, 337, 000	25, 355, 000	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市 債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	369, 880, 841	454, 505, 184	532, 220, 294	518, 127, 831	0	0
	執 行 率	97.6%	98. 1%	97. 8%	95. 7%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職員数	9. 23	12. 41	12. 59	12. 18		
	職員人件費	73, 757, 261	94, 457, 416	98, 078, 764	94, 949, 955		
	嘱託員数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接	妾経費)						
	間接経費	4, 048, 012	6, 771, 377	4, 162, 342	6, 355, 791		
	総コスト	447, 686, 114	566, 403, 977	641, 798, 400	644, 788, 577	0	0

#### 5 これまでの取組及び今後の展開

#### これまでの主な取組と成果

- ○道路パトロールや市民からの通報により道路の破損箇所や危険箇所の早期発見、早期改修を行った ○道路維持管理事業について2業者に発注し迅速な対応を行った ○現業職員による迅速な対応を行った

- ○朝日町通り、美術館通り、平和通りにおける街路樹の間伐事業を進めた ○路面陥没による重大事故を未然に防止するため、幹線道路の路面下空洞調査結果に基づく改修工事を行った ○予防保全型の管理を目指し、橋梁点検を行った ○けやき並木通り周辺地区道路等包括管理事業を行った

#### 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

- ○けやき並木周辺における道路維持管理において、包括委託による民間活力を導入した結果の検討評価を踏まえ、区域を拡大して次期包括管理事業を試行的に実施し、検証を行った後に市全域に包括管理事業を導入する。○施設の延命化を効率良く図り、予防保全の管理を進めるためには施設の点検調査が必要となる○大規模な道路工作物や付属物について、5年に一度の点検が法令により義務付けられた。

6 構成事業一覧

(単位:円)

6	構及	尹木	見						(単位:円)
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	H28: 当初予算額	年度 決算額	H29年度 当初予算額
1	01	40	10	05	0993000	道路台帳作成費	28, 830, 000	26, 568, 000	27, 091, 000
2	01	40	10	10	1009000	道路維持管理費 管理委託料	90, 078, 000	89, 312, 223	113, 063, 000
3	01	40	10	10	1009600	けやき並木通り周辺包括管理(道路維持)事業費(債 務負担行為解消分)	5, 676, 000	5, 675, 213	
4	01	40	10	10	1009800	けやき並木通り周辺包括管理(道路維持)事業費(債 務負担行為解消分)	3, 838, 000	3, 837, 299	
5	01	40	10	10	1010000	道路維持管理費 光熱水費及び燃料費	4, 586, 000	3, 920, 422	4, 503, 000
6	01	40	10	10	1011000	道路維持管理費 諸経費	2, 617, 000	1, 768, 555	2, 488, 000
7	01	40	10	10	1012500	道路維持整備事業費 調査委託料	54, 700, 000	47, 433, 495	
8	01	40	10	10	1013000	道路維持整備事業費 維持修繕工事費	132, 000, 000	131, 983, 962	136, 000, 000
9	01	40	10	10	1014200	橋りょう長寿命化修繕計画策定費			10, 900, 000
10	01	40	10	15	1016100	境界確定事業費	23, 700, 000	23, 847, 442	19, 300, 000
11	01	40	10	15	1017350	道路認定事業費	11, 800, 000	10, 299, 048	12, 100, 000
12	01	40	15	25	1130000	街路樹管理費 管理委託料	162, 260, 000	152, 214, 991	245, 722, 000
13	01	40	15	25	1130500	けやき並木通り周辺包括管理(街路樹)事業費	5, 500, 000	14, 925, 600	
14	01	40	15	25	1130600	けやき並木通り周辺包括管理(街路樹)事業費(債務 負担行為解消分)	30, 998, 000	30, 997, 389	
15	01	40	15	25	1136000	街路樹植栽事業費 植栽工事費	710, 000	699, 192	8, 400, 000
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						슴 計	557, 293, 000	543, 482, 831	579, 567, 000

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

1 事務事業の	概要										
事務事業名	法定外公共物管理事業					業 ド <sup>40690300</sup>					
概要	法定外公共物の維持管理										
<b>基本施策</b>	4 社会基盤の保全・整備	主	管部課名	都市整備部	部 管理課						
総合施策	69 道路等の適正な維持管理	4	事業類型	任意事業							
事業種別	その他の事務事業   事業開始年度   平成14年度	~ 見证	直しの裁量	市に事業見	見直しの裁量あり	)					
根拠法令等	法定外公共物管理条例										
市関連事業											
対 象	府中市内にある水路・里道等の法定外公共物										
実施の背景	里道、水路など、道路法や河川法などが適用されない「 与を受け、財産管理や機能管理を行っている。	法定外公共物	」は、地方分権	重の推進によ	:り、平成14年	度に国有財産の譲					
事 業 目 標	法定外公共物の適切な維持管理に努めることにより、快	適な市民生活	を提供する。								
事業内容	事業内容 法定外公共物の適切な維持管理(草刈り、簡易舗装、構築物の改修)に努める。										
2 事業計画・	評価										
H27年度実績(I		H27年度評価	面 (Check)	評価内	<b>羽容</b> B 現状のま	ま継続					
法定外公共物の維・草刈り、枯損木・その他 13件	:伐採 86件	市民からの要	要望に基づき、	草刈等の維	持管理を実施した	<b>}</b> ⊂。					
T)	<ul><li>✓ 新規・レベルアップ</li></ul>	il []	廃止H	27年度評価	<b>断に基づく見直</b>	し (Action)					
H28年度の具体	的な取組(Plan)	H28年度の7	ち ち う う う う う う う う う う う う う う う う う う	)							
· 法定外公共物の · 法定外公共物活	維持管理	・維持管理に	は、継続して事 E外公共物をブ	業に取り組		調査し、活用の有無					
	Do)	H28年度評价	ffi (Check)	評価内	内容 A 重点化・	拡大して継続					
法定外公共物の維 ・草刈り、枯損木 ・その他 37件 法定外公共物活用	接持管理 146件 5伐採 109件 5 日検討委託 日検討委託 Dいて現況を調査し、今後の活用方針を定めるために必要 なを行った。	・市民からの	の要望に基づき 第の法定外公共	、草刈等の	維持管理を実施						
	▶□ 新規・レベルアップ □ 継続 □ 見直	īl 🗆 🛭	<del></del> 廃止 H	 28年度評価	Tに基づく見直	L (Action)					
H29年度の具体	ー 的な取組(Plan)	H29年度の7	与向性(Plan)	)							
	・法定外公共物の維持管理 ・維持管理は、継続して事業に取り組む。 ・不要な法定外公共物について隣接土地所有者に売り払いの案内を実施する。										
平成30年度によ	らける事業の位置付け	_									
A 重点化・拡大 B 現状のまま総	**続     1 大幅な見直しは必要ない       2 見直しには法令等の改正が必須       3 見直しの必要性はあるが時期尚早       4 現状では見直しが不可能	В	法定外公共物 あり、今後も 不要な法定外 や払下げによ	継続して市 公共物につ	民要望に応える! いて、処分を行	年一定の処理件数が 必要がある。 い、管理経費の削減					
C 見直して継続 D 休止・廃止等	2 他事業との整理・統合	1									

3 完了

指標名	基準値	値事業推移					目標値・	七冊の八七		
担保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	指標の分析 数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設		
		計 当初値	-	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設		
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。		
	_	実 績	1	ı	ı	ı	ı			
		当初値画	-	-	-	-	-			
	=	値補正値	-	1	١	1	ı			
	_	実 績	_	-	-	_	_	+ ()(+n/+) > +++) + /+)		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	法定外公共物管理者と	して、適切な維持管理を	行う必要がある。	
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

<del>*</del> =	未見「八口貝寺の」		(辛四.11、八)				
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業	<b>美費</b> )						
	当 初 予 算 額	8, 798, 000	8, 596, 000	9, 596, 000	21, 480, 000	11, 870, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	8, 798, 000	8, 596, 000	9, 596, 000	21, 480, 000	11, 870, 000	0
	予算現額	8, 798, 000	8, 596, 000	12, 022, 000	21, 480, 000	0	0
:	決 算 額	8, 496, 236	8, 537, 481	11, 960, 359	20, 855, 457	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	8, 496, 236	8, 537, 481	11, 960, 359	20, 855, 457	0	0
	執 行 率	96.6%	99.3%	99. 5%	97. 1%	0.0%	0.0%
(人作	‡費)						
]	職 員 数	5. 24	3.70	3. 73	3. 91		
]	職員人件費	41, 852, 957	28, 206, 034	29, 035, 366	30, 492, 403		
	属 託 員 数	0	0	0	0		
	嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0		
(間接	接経費)						
	間 接 経 費	2, 297, 008	2, 022, 007	1, 232, 224	2, 041, 108		
,	総コスト	52, 646, 201	38, 765, 522	42, 227, 949	53, 388, 968	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

### これまでの主な取組と成果

市内にある水路・里道等の法定外公共物の適切な維持管理(草刈り、簡易舗装など)を実施することにより快適な市民生活を提供してきた。平成 2~8 年度処理実績 1~4~6 件

#### 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

- ・引き続き法定外公共物の適切な維持管理(草刈り、簡易舗装など)に努める。 ・法定外公共物の現況調査を実施し、活用及び処分の検討を行い、法定外公共物の今後の方針を決定する。不要な法定外公共物については処分を行い、将来的な維持管理費削減及び歳入確保に努める。

6 構成事業一覧 (単位:円)

	A ⇒⊥		元		事業	マヴェック	H28:	H28年度	
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	H29年度 当初予算額
1	01	40	10	05	0995000	法定外公共物管理費	10, 280, 000	10, 249, 857	11, 870, 000
2	01	40	10	05	0995500	法定外公共物活用検討事業費	11, 200, 000	10, 605, 600	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	21, 480, 000	20, 855, 457	11, 870, 000

 記 載 年 月
 平成29年9月

 対 象 年 度
 平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	インフラマネジメント計画推進事業       事務事業コード       40690400												
概要	新たなインフラ管理の方針として定めた「インフラマネ	ジメント計画」を着実に推済	<b>生していく事業である。</b>										
<b>基本施策</b>	4 社会基盤の保全・整備	主管部課名	都市整備部 管理課										
総合施策	69 道路等の適正な維持管理	事業類型	任意事業										
事業種別	主要な事務事業 <b>事業開始年度</b> 平成25年度	~ 見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり										
根拠法令等	道路法、都市公園法、府中市インフラマネジメント計画												
市関連事業	けやき並木通り周辺包括管理事業												
対象	府中市全域のインフラ(道路、公園、橋梁、下水道等)												
実施の背景	インフラの管理にかけられる予算が年々削減されている いくことを目的としている。	状況下において、長期的な社 	見野を持ちつつ安全なインフラを維持管理して 										
事業目標	インフラマネジメント計画を着実に推進していくことにより、インフラの維持管理と補修更新に将来かかる費用の増大を抑える。 												
事業内容	老朽化が進むインフラ(道路、橋梁、公園等)を長期に渡り安全に管理していくため、インフラマネジメント計画の中で示された 取組について可能なものから順次取り組み、計画を推進していく。												
2 事業計画・													
H27年度実績(		H27年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続										
の検討	り周辺地区道路等包括管理事業の中間評価、将来の手法 ジメントシステム導入	した。また、システムの導	:行い、今後の包括管理事業の在り方を明らかに 『入を行うことにより、「事務の簡素化、予防保 『の効率化』を行うための基盤づくりを行った。										
・ 手数料条例の意	<b></b> 改正による謄写料の引き上げ検討 など												
T	<ul><li>対規・レベルアップ</li><li>✓ 継続</li><li>見直</li></ul>		127年度評価に基づく見直し(Action)										
H28年度の具体	的な取組(Plan)	H28年度の方向性 (Plan	)										
<ul><li>次期包括管理</li><li>公共施設等総令</li><li>インフラマネ</li></ul>	事業準備	<ul> <li>・ 平成29年度から実施を予定する、次期包括管理事業の準備を行い、包括管理事業の拡大を図る。</li> <li>・ 公共施設等総合管理計画を策定することにより、公共施設マネジメントと合わせ、市の施設全体のマネジメントへの取組体制を構築する。</li> <li>・ 平成29年度に予定する、インフラマネジメント計画改定の準備を行うことにより、本事業の適切な進行管理の確保を行う。</li> </ul>											
H28年度実績(	Do)	H28年度評価 (Check) 評価内容 A 重点化・拡大して継続											
・ 包括管理事業 会の実施 ・ 公共施設等総	の今後の方針の検討を行い市内事業者参画のための説明	・ 次期包括管理事業では ら開始予定に変更すること ・ 市の施設全体のマネジ 等総合管理計画を策定	、平成29年に最終評価を行い、平成30年か :とした。 メントへの取組体制を構築するため、公共施設 した。 るインフラマネジメント白書の改定を行うため										
$\bigcirc$	<ul><li>■ 新規・レベルアップ</li><li>✓ 継続</li><li>□ 見直</li></ul>	iし □ 廃止 ト	128年度評価に基づく見直し(Action)										
H29年度の具体	的な取組(Plan)	H29年度の方向性 (Plan	)										
	事業の募集・選定 ジメント白書及び計画の改定及びそれに伴う検討協議会		を予定する、次期包括管理事業の準備を行う。 ラマネジメント白書及び計画の改定を行う。										
平成30年度にお	おける事業の位置付け												
A 重点化・拡力 B 現状のまま絹		▲ 【、試行的に乳	である、インフラマネジメント計画を適正に見り、適正な進行管理の確保を目指す。その中で 施していた包括管理事業の拡大等、更なる効果 う各事業の推進を図る。										
C 見直して継続	売 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合												
D 休止・廃止等													

3 完了

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
14 保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	相保の力制	
	-	計 当初値	ı	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
		値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	ı	1	١	1	ı		
	_	実績	-	-	-	-	ı		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	1				
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	市が主体となり、インフラマネジメント計画を推進する。					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3		

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度						
(事業	<b>美費</b> )												
	当 初 予 算 額	5, 000, 000	0	38, 731, 000	22, 794, 000	13, 813, 000	0						
	国庫支出金	0	0	0	5, 754, 000	0	0						
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
	市債	0	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0	0						
	一般財源	5,000,000	0	38, 731, 000	17, 040, 000	13, 813, 000	0						
	予算現額	5,000,000	0	37, 207, 000	22, 794, 000	0	0						
:	決 算 額	4, 830, 000	0	37, 000, 000	20, 962, 800	0	0						
	国庫支出金	0	0	19, 828, 000	5, 753, 000	0	0						
	都 支 出 金	0	0	8, 230, 000	6, 300, 000	0	0						
	市債	0	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0	0						
	一般財源	4, 830, 000	0	8, 942, 000	8, 909, 800	0	0						
	執 行 率	96.6%	0.0%	99. 4%	92.0%	0.0%	0.0%						
(人作	<b>牛費</b> )												
]	職員数	2. 15	3. 23	2. 17	3. 26								
]	職員人件費	17, 152, 851	24, 598, 285	16, 881, 027	25, 410, 336								
	嘱 託 員 数	0	0	0	0								
	嘱託員人件費	0	0	0	0								
(間接	接経費)												
	間接経費	941, 393	1, 763, 378	716, 409	1, 700, 923								
	総コスト	22, 924, 244	26, 361, 663	54, 597, 436	48, 074, 059	0	0						

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

インフラマネジメント計画を平成24年度に策定し、インフラマネジメント計画推進事業を平成25年度からスタートしている。初年度である平成25年度は、優先的に取り組むべき事項や初期費用がかからない事項について検討を開始し、平成26年度は、けやき並木通り周辺包括管理事業等を開始した。平成27年度は、包括管理事業の評価と今後の方針の検討、インフラマネジメントシステムの導入による基盤の整備等を行った。平成28年度は、けやき並木通り周辺地区道路等包括管理事業を終了し、今後の方向性を検討した。

## 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

インフラマネジメント計画に示す取組を引続き推進し、特に道路等包括管理事業については、評価及び検討を踏まえて将来的に市全域に拡大を目指す。 またインフラマネジメント計画の評価及び改定を行い、方向性を示していく。 6 構成事業一覧 (単位:円)

		井木	元		事業	マ佐市米の	H28:	年度	H29年度
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	10	05	0997550	インフラマネジメント計画策定費	16, 048, 000	15, 120, 000	11, 324, 000
2	01	40	10	05	0997700	インフラマネジメント計画推進事業費	3, 830, 000	3, 250, 800	2, 265, 000
3	01	40	10	05	0997750	インフラマネジメント計画検討協議会(仮称)運営費			224, 000
4	01	40	10	05	0997800	公共施設等総合管理計画(インフラ)策定費	2, 916, 000	2, 592, 000	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	22, 794, 000	20, 962, 800	13, 813, 000

記	載	年	月	平成29年9月
対	象	年	度	平成28年度

1 事務事業の	<del>陇安</del>														
事務事業名	緊急整備工事事	<b>事業</b>					事 務 事 業コ 一 ド								
概要	緊急整備工事							•							
基本施策	4 社会基盤の保全	• 整備		È	管部課名	都市整備部	部 土木課								
総合施策	69 道路等の適正な	維持管理		2	事業類型	任意事業									
計画事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	~	 見ī	直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり									
根拠法令等															
市関連事業															
	取合的に軟件が20両も	光的宏													
対 象	緊急的に整備が必要な														
実施の背景															
事業目標	緊急時に工事を実施す	~る。													
事業内容	道路工事等	鱼路工事等													
2 事業計画・															
H27年度実績(	Do)			H27年度評价			<b>P容</b> B 現状のまま								
▼緊急整備工事を	行う状況はなかった			▼予算を確保	Rし緊急時に備	<b>前えた</b>									
	- □ 新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□ 見頂	直し 口 J	· 秦止	127年度評価		(Action)							
W00 5 5 5 5 W		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						,,,,,							
	的な取組 (Plan)				方向性(Plan		_								
▼火音吋などの祭	急時に工事を実施する	ことが山米るより平1	用 を11 フ	▼火告時なる	ごの緊急時にエ	- 争を 夫施 9	ର								
H28年度実績(	Do)			H28年度評(	面 (Check)	評価内	<b>羽容</b> B 現状のまま	:継続							
▼緊急整備工事を	行う状況はなかった				呆し緊急時に備										
$\overline{}$	- □ 新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□ 見直				ffiに基づく見直し 	(Action)							
	<b>的な取組 (Plan)</b> 時に工事を実施するこ	レができるトネ予管	を確促する		<mark>ケ向性(Plan</mark> O緊急時に工事										
▼灰香はとの楽局	时に上事を夫施りるこ	とかできるより 『昇・	を作体 9 公	▼火青などの	ノ茶 心 吋 に 土 寺	♥を 夫肥 り む									
平成30年度にお	おける事業の位置付け														
A 重点化・拡力 B 現状のまま絹 C 見直して継網	にして継続	な見直しは必要ない しには法令等の改正だ しの必要性はあるがB では見直しが不可能		В	▼災害などの がある	)緊急時に備	え、予算は今まで	同様確保する必要							
		業との整理・統合													
D 休止·廃止等	1 休止     2 廃止			1											

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析
旧保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	担保の方例
	-	計当初値画	1	1	-	1	1	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設
		値補正値	_	-	_	_	-	定は行わない。
	_	実 績	١	1	_	ı	ı	
		計 当初値	-	-	-	-	-	
	_	値補正値	ı	1	_	1	1	
	_	実 績	_	_	_	_	_	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	1				
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	緊急時におけるもので、市が主体的に取り組む。					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2		

## 事業費・人供費等の推移

4 事業費・人件費等の	推移					(単位:円、人)
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	1,000,000	1, 000, 000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	0
予 算 現 額	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	0	0
決 算 額	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0
執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20		
職員人件費	1, 598, 474	1, 522, 751	1, 558, 249	1, 558, 501		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間 接 経 費	0	0	0	62, 529		

## 5 これまでの取組及び今後の展開

## これまでの主な取組と成果

▼平成28年度については、緊急的な工事の実施の実績はなかったが、今後も災害時等の緊急的に工事を実施することが出来るよう準備を行う

1, 558, 249

1,621,030

1, 522, 751

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

1, 598, 474

▼災害時等の緊急時に工事を実施する

6 構成事業一覧 (単位:円)

	会計	款	百	目	事 業 コード	予算事業名		年度	H29年度
	五司	示人	垻	п	コード		当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	10	15	1056000	緊急整備工事費	1, 000, 000	0	1, 000, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						슴 計	1, 000, 000		1, 000, 000

記 載 年 月 対 象 年 度 平成29年9月 平成28年度

1 事務事業の	概要											
事務事業名	下水道運営管理	里事業						事務事	業 ド 40700100	)		
概要	下水道事業の管理運営	に必要な事務事業						•				
基本施策	4 社会基盤の保全	<ul><li>整備</li></ul>			主	管部課名	都市整備語	部 下水道課				
総合施策	70 下水道施設の機	能確保			4	<b>事業類型</b>	法定事業					
事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和39年度									
根拠法令等	府中市下水道条例、地							, _ ,				
市関連事業	713 T 717 T 73 72 21 71 7 7 7 7	TANCE										
	下水道使用料の徴収、	排水設備に関する事	■ 務及び下水道	道運営に翌	更する <sup>-</sup>	下水道協会等の	)各種団体^	の負担金、各力	 K再生センターで	·の		
対象実施の背景	下水処理費負担金	たている事業の数据	17年24									
	昭和39年度に開始し			. //. ><	÷ ~ 411.1	# ) // II. I.I.B.a	. I. 66 / 17 A J	L-y-2-17				
事業目標	下水道事業を円滑に推	進することにより、	安全で快適な	な生活場が	意の維持	守と公共水域の	が質保全を	:するため				
事業内容	使用料の徴収事務は東京都水道局へ委託。排水設備の水質規制に関する市内事業場の水質測定分析及び流域下水道接続点の水質検 査委託。東京都の流域下水道で処理する下水処理費用の負担。											
2 事業計画・	評価											
H27年度実績(	Do)			H27年	度評個	(Check)	評価内	<b>7容</b> B 現状の	まま継続			
○下水道使用料徵				当初計	・画どお	3り事業を実施	した。					
○公共下水道水質 ○工場排水水質測 ○流域下水道維持 ○公営企業会計へ	定分析試験委託 管理負担金											
<b>₹</b>	┏ 新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□ 見	直し		廃止 H	27年度評価	西に基づく見直	፤し (Action)			
H28年度の具体	的な取組 (Plan)			H28年	度のた	方向性 (Plan	)					
○下水道使用料徵 ○公共下水道水質 ○工場排水水質測 ○流域下水道維持 ○公営企業会計推	検査業務委託  定分析試験委託  管理負担金			引き続	き下水	×道の運営管理	事業を推進	する。				
H28年度実績(	Do)			H28年	度評個	(Check)	評価は	<b>内容</b> B 現状の	まま継続			
○下水道使用料復 ○公共下水道水道水 ○工場排水水質混 ○流域下水道維貫 ○公営企業会計推	如事務委託 「検査業務委託  定分析試験委託  管理負担金					おり事業を実施						
₹ <u>J</u>	▼	プ ☑ 継続	□見	直し		廃止 H	28年度評価	晒に基づく見直	፤し (Action)	_		
H29年度の具体	的な取組 (Plan)			H29年	度のた	方向性 (Plan)	)					
○下水道使用料衡 ○公共下水道水質 ○工場排水水質測 ○流域下水道維持 ○公営企業会計推	検査業務委託  定分析試験委託 管理負担金			引き続	き下水	×道の運営管理	事業を推進	する。				
平成30年度にお	おける事業の位置付け											
A 重点化・拡力						下水道使用料	徴収事務は	、東京都下水道	局への水道料金。	と一		
B 現状のまま糸	2 見直 3 見直	な見直しは必要ない しには法令等の改正だ しの必要性はあるが では見直しが不可能		В		体的な徴収と 下水道局に委 による経費削	する事務委 託すること	託を行い、水質 で事務効率と共	検査業務では東京 にスケールメリッ	京都ット		
 C 見直して継紀		ン・縮小										
72 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		業との整理・統合										
D 休止・廃止等	争 1 休止			1								
I	2 廃止	-										
	_2 洗韭											

指標名	基準値		事業推移					指標の分析	
担保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	担保の方例	
		計当初値画	-	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	1	ı	ı	ı	ı		
		当初値画	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	-	1	ı	1	ı		
	_	実績	_	-	-	_	_	+ ()(+n/+) > +++) + /+)	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	下水道法において、公共下水道の管理は市町村が行うことが規定されている。					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3		

### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	学术員 八円貝号の1	- 07年99 (主										
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度					
(事業	<b>業費</b> )											
	当 初 予 算 額	1, 901, 361, 000	1, 908, 283, 000	1, 945, 274, 000	1, 928, 747, 000	1, 941, 228, 000	0					
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0					
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0					
	市債	0	0	0	0	0	0					
	その他	1, 520, 212, 000	1, 535, 629, 000	1, 564, 542, 000	1, 566, 734, 000	1, 556, 116, 000	0					
	一般財源	381, 149, 000	372, 654, 000	380, 732, 000	362, 013, 000	385, 112, 000	0					
	予算現額	1, 862, 550, 000	1, 870, 961, 000	1, 897, 117, 000	1, 895, 073, 000	0	0					
	決 算 額	1, 746, 708, 337	1, 694, 622, 848	1, 681, 176, 478	1, 716, 766, 267	0	0					
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0					
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0					
	市債	0	0	0	0	0	0					
	その他	1, 439, 071, 030	1, 451, 593, 728	1, 442, 666, 275	1, 505, 858, 658	0	0					
	一般財源	307, 637, 307	243, 029, 120	238, 510, 203	210, 907, 609	0	0					
÷	執 行 率	93.8%	90.6%	88.6%	90.6%	0.0%	0.0%					
(人作	牛費)											
	職員数	6. 20	6. 69	6. 28	7. 28							
	職員人件費	49, 552, 682	50, 936, 021	48, 929, 006	56, 729, 422							
	嘱託員数	0	0	0	0	-						
	嘱託員人件費	0	0	0	0							
(間接	接経費)											
	間接経費	3, 060, 248	6, 024, 429	2, 024, 973	2, 174, 165							
	総コスト	1, 799, 321, 267	1, 751, 583, 298	1, 732, 130, 457	1, 775, 669, 854	0	0					

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

使用料徴収事務委託は東京都水道局へ委託することによりスケールメリットを活かし経費の節減を図っている。また、水質規制に係る公共下水道水質検査業務委託は東京都下水道局との共同実施により、経費の削減を図っている。工場排水水質測定分析試験委託は平成20年度から単価契約とすることにより緊急時の水質測定への対応が可能となった。当該事務事業費の大半を占める流域下水道維持管理負担金は下水処理の経費として下水処理量に応じて東京都下水道局へ負担しているものである。排水設備に係る受付・審査は、直営で行っている。また、平成24年度から低所得の障害者世帯の経済的負担を軽減するため下水道基本料金の減免を始めた。平成26年度には中長期の財政計画の検討を行った。平成28年度には公営企業会計推進事業委託として管きょ150㎞の固定資産調査調査を行った。

## 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

下水道使用料は、節水型社会への移行と人口減少などの社会情勢の変化により、今後は大幅な水需要の増加に伴う使用料収入の増は期待できない状況にあることから、下水道施設の機能を維持するための老朽化対策や地震対策事業に係る費用に対する財源を確保していくことが課題である。また、平成32年度より適用される公営企業会計に係る知識の習得、固定資産調査及びシステム導入業者の決定などの移行への準備や関係部署との協議を計画的に進めていくことが課題である。

6 構成事業一覧

(単位:円)

6	構及	# 未	見					(単位:円)	
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	H28: 当初予算額	年度 決算額	H29年度 当初予算額
1	16	05	05	05	3500180	公営企業会計推進事業費	13, 410, 000	11, 988, 000	29, 160, 000
2	16	05	05	05	3500200	使用料徵収事務費	363, 675, 000	330, 567, 553	346, 232, 000
3	16	05	05	05	3500300	排水設備関係事務費	5, 088, 000	3, 607, 014	5, 237, 000
4	16	05	05	05	3500400	消費税等納付金	45, 000, 000	47, 722, 900	49, 000, 000
5	16	05	05	05	3500500	負担金 日本下水道協会	679, 000	678, 580	846, 000
6	16	05	05	05	3500601	負担金 関東地方下水道協会	8,000	7, 700	
7	16	05	05	05	3500800	負担金 多摩川流域下水道野川ブロック協議会	10,000	10, 000	
8	16	05	05	05	3501000	負担金 野川仙川改修促進期成同盟	10,000	10, 000	
9	16	05	05	05	3501200	負担金 多摩地区下水道事業積算施工適正化委員会	20,000	20, 000	20, 000
10	16	05	05	05	3501300	負担金 流域下水道北多摩一号水再生センター維持管 理費	1, 449, 826, 000	1, 263, 156, 366	1, 458, 506, 000
11	16	05	05	05	3501400	負担金 森ケ崎水再生センター維持管理費	51, 021, 000	58, 998, 154	52, 227, 000
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	1, 928, 747, 000	1, 716, 766, 267	1, 941, 228, 000

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

_1 事務事業の	概要												
事務事業名	下水道維持管理	<b>里事業</b>						事 務 事 第 コ ー ト	40700200				
概要	既設下水道施設の維持	管理事業											
基本施策	4 社会基盤の保全	<ul> <li>整備</li> </ul>			主	管部課名	都市整備部	部 下水道課					
総合施策	70 下水道施設の機	能確保			事業類型 法定事業								
事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和39年月	麦 ~	見画	直しの裁量	市に事業の	の一部を見直す裁	量あり				
根拠法令等	下水道法												
市関連事業													
			- 1 = 6 V - 1 1	m > 10 -	- L 336 F	T 1.1 (46.)							
対象	既設下水道施設 (管渠	、ボンブ場、都市	卜水路、貸材	置き場、	卜水道片	书地等 <i>)</i>							
実施の背景	昭和39年度に開始し	た下水道事業の管理	里運営										
事業目標	既設下水道施設の機能	を確保することによ	より、安全で	快適な生活	舌環境の	の維持と公共オ	×域の水質係	R全をするため					
事 業 内 容	下水道施設の破損や管きょ内の土砂等の堆積物の除去 既設の下水道施設の調査、清掃、保守等の委託、既設管渠の補修等の工事												
2 事業計画・													
H27年度実績(I	H27年度評価 (Check)評価内容 B 現状のまま継続当初計画どおり事業を実施した。												
管渠の調査 管渠の清掃 産業廃棄物(管清 ポンプ場施設の保 都市下水路の現況 下水道施設耐震化	:守及び補修工事 調査			当初計	·画 <i>ど</i> ま	3り事業を実施	iした。						
<del>-</del> ₹	- 🗌 新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□見	l直し		発止 H	27年度評価	西に基づく見直!	し (Action)				
H28年度の具体	的な取組(Plan)			H28年	度のブ	方向性 (Plan	)						
管渠の調査 管渠の清掃 産業廃棄物(管清 ポンプ場施設の保 下水道施設耐震化	守及び補修工事			引き線	き下水	x道施設におけ	る維持管理	事業を推進する。					
H28年度実績(I	Do)			H28年	度評値	(Check)	評価内	<b>内容</b> B 現状のま	ま継続				
管渠の調査 管渠の清掃 産業廃棄物(管清 ポンプ場施設の保 下水道施設耐震化	掃汚泥)の処理 守及び補修工事					おり事業を実施							
<u> </u>	- □ 新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□見	l直し		廃止 H	28年度評価	西に基づく見直!	し (Action)				
	的な取組 (Plan)					方向性 (Plan							
管渠の調査 管渠の清掃 産業廃棄物(管清 ポンプ場施設の保 下水道施設耐震化 都市下水路維持補	守及び補修工事 工事			引き続	き下水	<b>ヾ道施設におけ</b>	る維持管理	事業を推進する。					
平成30年度にお	おける事業の位置付け												
A 重点化・拡大						市民生活の基	盤である下	水道施設について	て、下水道マスター				
B 現状のまま総	1     大幅       2     見直       3     見直	な見直しは必要ない しには法令等の改正 しの必要性はあるが では見直しが不可能		В		プランや総合正な維持管理	·地震対策計	·画に基づき、引き	·続き計画的かつ適				
C 見直して継続		_ ・縮小											
		<b>美との整理・統合</b>											
D 休止・廃止等	1 休止			1									
	2 廃止			_									
	3 完了												

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
担保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度		
		計当初値画	11	16	21	26	26	市内における幹線道路内の下水道 管きょにおいて、カメラ調査を行	
下水道管のカメラ調査延長	6	値補正値	-	ı	-	-	平成29年度	こうしょうしゅ サール・カーション・サール	
	km	実 績	9	13	19. 7	-	-	。なお、平成28年度の調査延長 の実績値については、当初計画値	
		計 当初値	-	-	-	-	-	を下回っているが、実施年度により調査路線が異なるためであり、	
	_	値補正値	ı	-	-	ı	ı	予定した箇所は調査完了している 。	
	=	実 績	-	-	_	_	-		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	下水道事業は、市が主体的に行うものである。					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3		

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業	<b>美費</b> )						
	当 初 予 算 額	504, 752, 000	599, 040, 000	448, 405, 000	523, 432, 000	463, 968, 000	0
	国庫支出金	37, 500, 000	58, 250, 000	16, 750, 000	17, 000, 000	0	0
	都 支 出 金	1, 875, 000	2, 912, 000	837, 000	850, 000	0	0
	市債	60, 700, 000	84, 000, 000	28, 000, 000	150, 000, 000	56, 000, 000	0
	その他	144, 991, 000	160, 306, 000	170, 444, 000	158, 155, 000	156, 292, 000	0
	一般財源	259, 686, 000	293, 572, 000	232, 374, 000	197, 427, 000	251, 676, 000	0
-	予算現額	486, 808, 000	579, 019, 000	441, 026, 000	547, 485, 000	0	0
;	決 算 額	419, 293, 009	426, 196, 144	325, 560, 594	339, 331, 214	0	0
	国庫支出金	26, 000, 000	26, 200, 000	0	8, 500, 000	0	0
	都 支 出 金	1, 300, 000	1, 310, 000	0	425, 000	0	0
	市債	60, 700, 000	37, 000, 000	13, 000, 000	102, 000, 000	0	0
	その他	116, 377, 458	121, 966, 305	129, 643, 697	97, 630, 711	0	0
	一般財源	214, 915, 551	239, 719, 839	182, 916, 897	130, 775, 503	0	0
i	執 行 率	86.1%	73.6%	73.8%	62.0%	0.0%	0.0%
(人作	‡費)						
J	職員数	6. 90	5. 70	5. 90	5. 90		
J	職員人件費	55, 147, 339	43, 398, 404	45, 968, 334	45, 975, 768		
ı	嘱 託 員 数	0	0	0	0		
Ī	嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0		
(間接	接経費)						
	間接経費	3, 405, 763	5, 132, 921	1, 902, 440	1, 762, 027		
	総コスト	477, 846, 111	474, 727, 469	373, 431, 368	387, 069, 009	0	0

## 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

管渠の調査・清掃については、平成19年度から東京都新都市建設公社(現在の名称は都市づくり公社)に年間委託し、市内全域を5年で一周するよう計画的に行った。この調査結果を踏まえ、下水道管きょにおける機能確保として汚泥深調査及び清掃作業を行っている。また、ポンプ場施設の保守についても年間委託し安定した運転を行っている。管更生工事・都市下水路補修工事については、管渠の調査等により工事箇所を選定、かつ重要度を検討し優先順位を決めて、計画的に進めている。以上の取組により現在、下水道施設の機能は確保されている。

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

府中市下水道マスタープランに基づき、下水道施設の維持管理、改築・更新事業を計画的に進めていく。地震対策については、総合地震対策計画に 基づき、計画的に事業を推進する。 6 構成事業一覧

(単位:円)

6	構及	# 未	見					(単位:円)	
	会計	款	項	Ш	事 業 コード	予算事業名	H28: 当初予算額	<sup>年度</sup> 決算額	H29年度 当初予算額
1	16	05	05	10	3501900	下水道維持管理費 管理委託料	81, 311, 000	72, 734, 240	123, 854, 000
2	16	05	05	10	3502000	下水道維持管理費 光熱水費及び燃料費	3, 795, 000	2, 628, 148	3, 491, 000
3	16	05	05	10	3502100	下水道維持管理費 諸経費	20, 575, 000	6, 889, 428	18, 844, 000
4	16	05	05	10	3502295	負担金 監督事務費	108, 000	76, 321	162, 000
5	16	05	05	10	3502300	負担金 都市下水路維持管理費	3, 892, 000	3, 889, 957	3, 976, 000
6	16	05	05	10	3502390	下水道整備事業費 設計委託料			6, 878, 000
7	16	05	05	10	3502400	下水道整備事業費 維持工事費	209, 544, 000	112, 266, 000	140, 600, 000
8	16	05	05	10	3502410	下水道整備事業費 工事委託料			84, 228, 000
9	16	05	05	10	3550038	下水道施設耐震事業費 設計委託料			10, 832, 000
10	16	05	05	10	3550039	下水道施設耐震事業費 工事委託料	204, 207, 000	140, 847, 120	71, 103, 000
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	523, 432, 000	339, 331, 214	463, 968, 000

平成29年9月 対象年度 平成28年度

Ⅰ 事務事業の値	1 事務事業の概要												
事務事業名	下水道新設改良	<b>皇事業</b>				事務事業 コード <sup>40700300</sup>							
概要	下水道施設の新設に関	わる事業											
基本施策	4 社会基盤の保全	• 整備			主管部課名	都市整備部 下水道課							
総合佐安	70 下水道施設の機				事業類型	法定事業							
計	主要な事務事業	事業開始年度	昭和39年度	F ~	見直しの裁量 市に事業の一部を見直す裁量あり								
根拠法令等	下水道法	<b>于</b> 术	四年55千万		。但しい故主	印に事未り、即と允良り級重めり							
市関連事業	小坦仏												
川因廷尹未													
対 象	下水道施設												
D + 0 * 0	mar o o e e e e e e e e e e e e e e e e e	) 1 \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	TV - W										
実施の背景	昭和39年度に開始し	/に下水担事業の官場	生理名										
事業目標	下水道施設を整備する	ことにより、安全で	で快適な生活	環境の維持とな	公共水域の水質化	呆全をするため							
1 × 1 1 1×	7,7,2,2,3,4,2,11,11,7,3		· / • · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
事業内容	那道拡幅等に伴う下水管の布設費用や流域下水道施設の建設費の一部を市が負担する。 また、老朽化した管きょについて管更生工事等の対策を行う。												
	2 事業計画・評価												
H27年度実績(D					価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続							
下水道管布設工事都道拡幅等に伴う	下水管の布設工車			当初計画と	`おり事業を実施	直した。							
長寿命化計画に基	がく施設更新工事	_											
マト	- 🔲 新規・レベルアッ	プ 🔽 継続	□見	直し	廃止 ト	H27年度評価に基づく見直し(Action)							
H28年度の具体的	内な取組 (Plan)			H28年度 <i>0</i>	方向性(Plan	))							
下水道管布設工事 都道拡幅等に伴う 長寿命化計画に基	下水管の布設工事 づく施設更新工事			引き続き下	*水道施設の新設	改良事業を推進する。							
H28年度実績(D	00)			H28年度評	描 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続							
下水道管布設工事 都道拡幅等に伴う 長寿命化計画に基	下水管の布設工事			当初計画と	おり事業を実施	直した。							
<u> </u>	新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□見	直し	廃止 ト	H28年度評価に基づく見直し(Action)							
H29年度の具体的	内な取組 (Plan)				方向性(Plan								
下水道管布設工事 都道拡幅等に伴う 長寿命化計画に基	下水管の布設工事 づく施設更新工事			引き続き下	水道施設の新設	改良事業を推進する。							
平成30年度にお	ける事業の位置付け												
A 重点化・拡大					市民生活の基	基盤である下水道施設について、下水道マスター							
B 現状のまま継	続 1 大幅/ 2 見直1 3 見直1 4 現状 <sup>-</sup>	な見直しは必要ない しには法令等の改正; しの必要性はあるが では見直しが不可能		В	プランや長寿	存命化計画に基づき、引き続き計画的かつ適正な ぎを推進する。							
C 見直して継続 D 休止・廃止等	2 他事業       1 休止       2 廃止	ン・縮小 業との整理・統合		1									
	3 完了				_1								

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
11保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度		
		計当初値画	7	8	9	10	10	平成28年度の更生工事延長の実 績値については入札不調により当	
下水管更生工事の延長	6. 3	値補正値	_	_	-	_	平成29年度	初計画値を下回っている。長寿命 化対策工事を業務委託している都	
	k m	実 績	6. 4	6.6	6. 73	-	-	<ul><li>市づくり公社へ発注時期の見直しなどの不調対策の実施をお願いし</li></ul>	
			計 当初値	-	-	-	-	-	、引き続き目標値の達成に向け事 業を実施する。
	=	値補正値	ı	-	ı	ı	ı		
	-	実 績	ı	ı	-	ı	-		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	下水道事業は市が主体的に行うものである。					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3		

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位	:	円、	人)
/— III	•	1 1 1	/ /

	事未負・人件負守の:	:0)推移					(单位: 17、人)	
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
(事業	<b>業費</b> )							
	当 初 予 算 額	324, 638, 000	425, 172, 000	538, 198, 000	334, 033, 000	549, 366, 000	0	
	国庫支出金	96, 590, 000	18, 500, 000	0	0	0	0	
	都 支 出 金	4, 829, 000	925, 000	0	0	0	0	
	市債	148, 500, 000	200, 000, 000	262, 000, 000	179, 000, 000	299, 000, 000	0	
	その他	29, 470, 000	81, 351, 000	111, 176, 000	61, 666, 000	101, 687, 000	0	
	一般財源	45, 249, 000	124, 396, 000	165, 022, 000	93, 367, 000	148, 679, 000	0	
	予算現額	295, 720, 000	440, 788, 000	463, 837, 000	292, 341, 000	0	0	
	決 算額	278, 252, 129	337, 045, 720	316, 260, 895	201, 772, 192	0	0	
	国庫支出金	58, 680, 000	21, 800, 000	0	0	0	0	
	都 支 出 金	2, 934, 000	0	0	0	0	0	
	市債	131, 600, 000	169, 100, 000	166, 200, 000	81, 900, 000	0	0	
	その他	31, 828, 159	58, 230, 623	58, 899, 978	47, 225, 322	0	0	
	一般財源	53, 209, 970	87, 915, 097	91, 160, 917	72, 646, 870	0	0	
	執 行 率	94. 1%	76. 5%	68.2%	69.0%	0.0%	0.0%	
(人作	牛費)							
	職員数	1.80	2. 60	2.80	2.80			
	職員人件費	14, 386, 262	19, 795, 763	21, 815, 480	21, 819, 008			
	嘱託員数	0	0	0	0			
	嘱託員人件費	0	0	0	0			
(間持	妾経費)							
	間接経費	888, 459	2, 341, 332	902, 853	836, 216		·	
	総コスト	293, 526, 850	359, 182, 815	338, 979, 228	224, 427, 416	0	0	

## 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

当事業は、下水道施設の新設に関する事業で、主に市・都道の新設拡幅等の道路事業に伴い、工事を施工するものであり、公共下水道として整備している。 また、合流改善事業については、計画どおり平成25年度で完了しているとともに、老朽化対策では長寿命化計画を策定し老朽化対策事業を推進している。

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

下水道施設の新設改良事業は、市・都道の新設事業に伴う公共下水道整備の一環として、今後も、事業を進めて行く。 また、平成25年度に策定した長寿命化計画に基づき、計画的に管更生工事等の対策工事を行い下水道管きょの長寿命化対策を推進する。 6 構成事業一覧

(単位:円)

	۵ <del>-</del> ⊥	力大	元		事業	7. 位 丰 米 九	H28年度		H29年度 当初予算額
会計		款	項	目	ゴード	予算事業名 	当初予算額	決算額	
1	16	05	05	05	3500195	下水道プラン策定費			1, 674, 000
2	16	05	05	15	3502500	負担金 流域下水道建設費	99, 364, 000	61, 086, 223	213, 529, 000
3	16	05	05	15	3502600	負担金 埋設物等移設費	1,000	0	1,000
4	16	05	05	15	3502800	設計委託費	11, 048, 000	7, 142, 040	11, 912, 000
5	16	05	05	15	3502900	負担金 公共下水道建設費	43, 500, 000	40, 992, 249	4, 301, 000
6	16	05	05	15	3503000	公共下水道管渠布設工事費 公道下水管布設工事費	42, 336, 000	33, 647, 400	19, 300, 000
7	16	05	05	15	3550037	下水道施設長寿命化計画策定費	20, 240, 000	18, 252, 000	
8	16	05	05	15	3550040	下水道施設老朽化対策推進事業費 調査委託料			108, 610, 000
9	16	05	05	15	3550045	下水道施設老朽化対策推進事業費 設計委託料			55, 299, 000
10	16	05	05	15	3550050	下水道施設老朽化対策推進事業費 工事委託料	117, 544, 000	40, 652, 280	97, 775, 000
11	16	05	05	15	3550060	下水道施設老朽化対策推進事業費 建設工事費			36, 965, 000
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
	合 計					合 計	334, 033, 000	201, 772, 192	549, 366, 000